



**PA500S/PA503S/PA500X/PA503X/
PA503W
DLP プロジェクター
ユーザーガイド**

型番 : VS16955/VS16905/VS16956/VS16909/VS16907

**ViewSonic をお選びいただき、
ありがとうございます。**



規制情報

FCC 準拠に関する声明

本製品はFCC 規則パート15 に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます: (1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

この装置はテストの結果、FCC 規制パート15 によるクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置及び使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で電波干渉が起こらないという保証はありません。この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は (装置をオフ/オンにして調べるができます)、次の方法のいずれかまたはいくつかの組み合わせを試し、妨害を正すことをお勧めします:


- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機を接続している回路とは別の回路の差し込み装置を接続する
- ラジオ/テレビの販売店が経験ある技術者に相談する

警告: FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

カナダ産業省 (IC) 宣誓書

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

欧州諸国のCE 適合性

 装置はEMC 指令2014/30/EU および低電圧指令2014/35/EU に準拠しています。

以下の記述はEU 加盟国にのみ適用します。

このマークは、電気電子機器廃棄指令2012/19/EU (WEEE)に準拠しています。

マークは、使用済みまたは廃棄バッテリーまたはアキュムレーターを含む装置を、分別しない都市廃棄物として処分することをせず、回収と再利用できる収集システムを使用する要求を示します。

この装置に含まれるバッテリー、アキュムレーターとボタン電池に化学記号 Hg、CdまたはPbが表示されている場合、それはバッテリーに0.0005%以上の水銀または0.002%以上のカドミウムまたは0.004%以上の鉛といった重金属を含んでいることを意味します。



RoHS2 準拠の通知

本製品は、電気および電子機器 (RoHS2 指令) に含まれる危険物質の使用の制限に関して、欧州議会および欧州委員会の指令 2011/65/EU に準拠して設計され製造され、次に示すように欧州技術適合委員会 (TAC) が発行した最大濃度値を遵守しているものと見なされています。


物質	提示された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr ⁶⁺)	0.1%	< 0.1%
多臭素化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭素化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%

上に示した製品の成分の一部は、次に示すように RoHS2 指令の付録 III で免除されています。

免除された成分の例を、次に挙げます。

1. 以下を超えない、特殊目的用の例陰極蛍光灯と外部電極蛍光灯の水銀(CCFLとEEFL) (ランプごと):
 - (1) 短距離(≤500 mm): 最大3.5 mg (ランプごと)。
 - (2) 中距離(>500 mmと≤1,500 mm): 最大5 mg (ランプごと)。
 - (3) 長距離(>1,500 mm): 最大13 mg (ランプごと)。
2. 陰極線管のガラスの鉛。
3. 重量で0.2%を超えない蛍光灯のガラスの鉛。
4. 最大0.4%の鉛(重量)を含むアルミの合金化元素としての鉛。
5. 最大4%の鉛(重量)を含む銅合金。
6. 高い融点タイプのはんだの鉛(つまり、重量で85%以上の鉛を含む鉛ベースの合金)
7. ピエゾエレクトロニクスデバイスなどのコンデンサ内、またはガラスまたはセラミックマトリクス複合体で、ガラスまたは誘電セラミック以外のセラミックに、鉛を含む電気および電子コンポーネント。

重要な安全な指示

1. 説明書を読んでください。
2. 説明書を保管してください。
3. 全ての警告に留意してください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 本体を水の近くで使わないでください。
6. 柔らかい、乾いた布で清掃してください。
7. 通気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って本体をインストールしてください。
8. ラジエーター、熱交換機、ストーブまたは熱を発生する他の装置(アンプを含む)の近くには、設置しないでください。
9. 極性付きまたは接地タイプのプラグの安全構造を破壊しないでください。極性付きプラグは、2本のブレードの一方が幅広くなっています。接地タイプのプラグは、2本のブレードと第3の接地用接点を備えています。広いブレードと第3の接点は、安全のために用意されています。付属のプラグがコンセントに入らない場合、旧式のコンセント交換について電気技術者にご相談ください。
10. 電源コード、特にプラグは踏まれたり挟まれたりしないよう保護してください。本体から近くて便利な取り外し可能な場所を探します。コンセントが本体付近に位置するようにしてください。
11. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケットまたはテーブルは、メーカー指定か、または本体と共に販売されている物を使用してください。カート使用の場合、転倒による怪我を防止するため、カートと本体の組合せを移動するときに注意してください。
13. 長期間本体を使用しない場合、プラグを抜いてください。
14. サービスは資格のある人員にお問い合わせください。本体がどんな形であれ損害を受けたとき、例えば電源コードまたはプラグが損傷した場合、本体に液体がこぼれたり、物が落ちたりした場合、本体が雨または湿気にさらされた場合、あるいは本体が正常に動かないか、落下した場合などのいずれでも、サービスを受けることが必要です。

著作権情報

著作権 ViewSonic Corporation, 2017. 版權所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

DPMSおよびDDCはVESAの登録商標です。

PS/2、VGAおよびXGAは、International Business Machines Corporationの登録商標です。

免責事項：ViewSonic社は、記載事項に含まれる技術上または編集上の誤りや省略に関する責任を負いません。また、内容の実行や製品の使用から来る付随的、派生的な損害に関する責任は一切負いかねます。

継続的な製品改善のために、ViewSonic社は断りなく製品仕様を変更する権利を留保します。この文書の情報は無断で変更される場合があります。

ViewSonic社による事前の書面による承諾がない限り、いずれの目的でもこの文書をコピー、複製、転送することはできません。

製品登録

将来の製品ニーズを満たすため、そして、追加の製品情報が利用可能になった時にそれを受け取るため、ViewSonic 社ウェブサイト上でお住まいの地域のセクションを参照し、お使いの製品をオンラインで登録してください。

また、ViewSonic CD を使って、製品登録フォームを印刷することができます。記入後、ViewSonic オフィスに郵送するか、あるいは、ファックスしてください。登録フォームを探すには、「:\CD\Registration」ディレクトリを使用してください。お使いの製品を登録することにより、今後カスタマーサービスのニーズに対して準備することができます。

このユーザーガイドの「あなたのための記録」セクションを印刷し、情報を記入してください。

ディスプレイのシリアル番号は、ディスプレイの背面にあります。追加情報は、このガイドの「カスタマサポート」セクションを参照してください。

控え用

製品名：	PA500S/PA503S/PA500X/PA503X/PA503W ViewSonic DLP Projector
型番：	VS16955/VS16905/VS16956/VS16909/VS16907
文書番号：	PA500S/PA503S/PA500X/PA503X/PA503W_UG_JPN Rev. 1A 06-13-17
シリアル番号：	_____
購入日：	_____

製品寿命が切れたときの製品廃棄

この製品のランプは、人と環境に有害となる水銀を含んでいます。地元、県、および国の法律に基づき、注意して処分してください。

ViewSonicは環境を尊重し、グリーンの仕事、生活をお約束します。よりスマートな、よりグリーンのコピューティングをサポートしていただきありがとうございます。より詳細は、ViewSonicウェブサイトアクセスしてご参照ください。

米国& カナダ: <http://www.viewsonic.com/company/green/recycle-program/>

ヨーロッパ: <http://www.viewsoniceurope.com/eu/support/call-desk/>

台湾: <http://recycle.epa.gov.tw/recycle/index2.aspx>

目次


安全にお使いいただく ために	2	高地での操作	31
はじめに	5	CEC 機能の使い方	31
プロジェクターの特長	5	3D 機能の使用方法	32
パッケージ内容	5	スタンバイモードで プロジェクターを使う	32
制御装置および機能	6	サウンドの調整	32
プロジェクターの 配置	10	プロジェクターを シャットダウンする	33
設置場所の選択	10	メニューの操作	34
投写サイズ	11	メンテナンス	44
接続	14	プロジェクターのお手入れ	44
コンピュータまたはモニターの 接続	15	ダストフィルタの使い方 (別売り)	44
ビデオ入力源デバイスとの接続 ...	16	ランプ情報	46
プロジェクターからサウンドを 再生する	17	トラブル シューティング	49
操作	18	仕様	50
プロジェクターの起動	18	外形寸法	50
メニューの使用方法	19	天井取り付け	50
パスワード機能を使用する	20	IR 制御表	51
入力信号の切り替え	22	RS232 コマンド表	52
投写画像の調整	23	タイミングチャート	62
詳細の拡大と検索	24	プロジェクターの仕様	66
縦横比の選択	24	著作権情報	68
画像の最適化	26	カスタマサポート.....	69
プレゼンテーションタイマーの 設定	29		
画像を隠す	30		
コントロールキーをロックする ...	30		

安全にお使いいただくために

お使いのプロジェクターは、情報テクノロジーデバイスの最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

安全にお使いいただくために

1. プロジェクターを操作する前に、この取扱説明書を参照してください。またいつでも参照できるように、手の届く場所に保管しておいてください。
2. **動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。**強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。
3. **点検修理については、サポートセンターにお問い合わせください。**
4. プロジェクターのランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
5. 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。プロジェクターは、電源が AC100 ~ 240V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や±10V のサージが発生すると故障する可能性があります。**電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクターを接続することをお勧めします。**
6. プロジェクターが作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。一時的にランプをオフするには、プロジェクターからリモコンの BLANK ボタンを押してください。
7. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクターを常温に戻してください。
8. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。
9. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクターの電源プラグを抜いてから行ってください。
10. 本製品は安定した場所に設置してください。本製品が落下して、破損する恐れがあります。
11. 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。お客様ご自身で補修できるパーツは、専用の取り外し可能なカバーが付いたランプ部分だけです。いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理はサポートセンターにお問い合わせください。
12. 次の場所に装置を置かないでください。
 - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクターの周辺の風通しをよくしてください。
 - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
 - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクターの寿命が短くなり、画像が暗くなります。
 - 火災報知器に近い場所。

- 周辺温度が 40°C / 104°F を超える場所。
 - 高度が 3000 メートル (10000 フィート) を超える場所。
13. 通気孔をふさがしないでください。通気孔がふさがれると、プロジェクターの内部が過熱し、火災が発生することがあります。
 - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
 - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
 - プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。
 14. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
 - 左右の傾きが 10 度、または前後の傾きが 15 度を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態でプロジェクターを使用すると、ランプが故障したり破損したりすることがあります。
 15. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり、プロジェクターが破損したりする恐れがあります。
 16. 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。装置が物理的に破損するだけでなく、事故やけがの原因になります。
 17. プロジェクターの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクター内部に液体がこぼれると故障の原因になります。プロジェクターが濡れてしまった場合は、コンセントからプラグを抜いて、お近くのサービスセンターに補修を依頼してください。
 18. 本製品を天井に取り付けて、画像を反転投写することができます。
-  **天井に取り付ける場合は、専用の天井取り付けキットを使用し、しっかりと固定してください。**
19. プロジェクターが作動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。
 20. 搬送や取り付け時にセキュリティバーを使用しないでください。市販の盗難防止用ケーブルをお使いください。
 21. 注意
この製品からは、光放射が放出される可能性があります。作動中のランプを見つめないでください。視覚障害を起こす可能性があります。リスクグループ 2

 **注意**

- この装置は接地されていなければなりません。
- 本体を取り付ける際は、プラグが外してあるデバイスを固定配線に接続するか、または本体の近くにあり容易に手の届く場所にあるコンセントに接続してください。本体操作時にエラーが発生した場合は、コンセントから抜いたデバイス进行操作して電源をオフにするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

プロジェクター天井取り付けにおける安全のための ご注意

本プロジェクターを安心してお使いいただくために、ここに記載する注意をよくお読みになり指示にしたがってください。

プロジェクターを天井に取り付ける場合は、適合する天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。


適合しない天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクターが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

プロジェクター天井取り付けキットは、プロジェクターを購入された販売店で買い求めいただけます。また別途セキュリティケーブルをお求めになり、プロジェクターの盗難防止用ロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお勧めします。このようにしておく、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。


はじめに


プロジェクターの特長

このプロジェクターは高性能な光学エンジン投写技術とユーザーフレンドリーな設計を統合しており、高い信頼性と使いやすさを実現しています。

 購入された製品によっては、ご使用いただけない機能があります。実際の性能は、モデルの性能により異なります。

- 省エネ機能は、一定時間入力信号が検出されなければ、ランプの電力消費量を最大で 70% も低減します。
- プレゼンテーション時間を管理するためのプレゼンテーションタイマー
- 3D ディスプレイに対応
- カラーマネージメントにより色を自在に調整
- 省エネモードがオンのとき、電力消費量が 0.5 W 以下
- あらかじめ定義された数種類の色から壁面の色を選択できる壁の色補正
- 直ちに信号検出ができるクイック自動検索機能
- 投写目的に応じて調整可能なカラーモード
- 最善の画質で表示するワンキー自動調整機能（アナログ信号のみ）
- 画像の歪みを補正するデジタルキーストーン補正
- データ / ビデオ表示を調整可能なカラー管理コントロール
- 10.7 億色を表示可能
- 言語を選択できるオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー
- 消費電力を節約する標準 / 省電力モードの切り替えが可能
- コンポーネント HDTV との互換性 (YPbPr)
- HDMI CEC (Consumer Electronics Control) 機能は、プロジェクターとプロジェクターの HDMI 入力に接続された CEC 互換の DVD プレーヤー機器との間で電源のオン / オフを同期します。

 投写イメージの明るさは、周辺光の状態および選択した入力信号のコントラスト / 輝度設定によって変わります。また投写距離の影響を直接受けます。

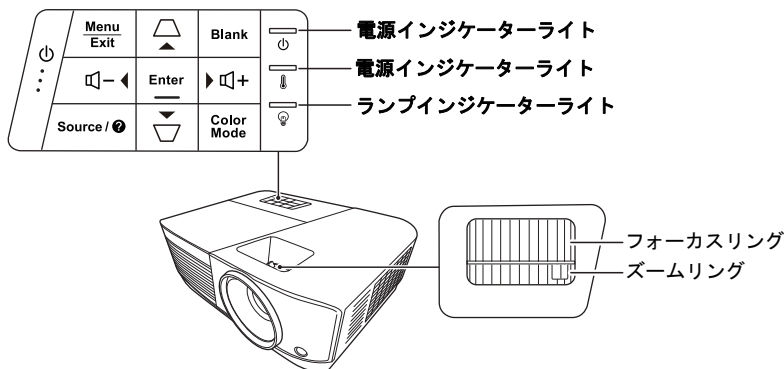
 ランプの明度は時間の経過に伴い暗くなります。また明度はランプ製造元の仕様によって異なります。これは異常ではなく、正常で予期される変化です。

パッケージ内容

1. プロジェクター
2. 電源コード
3. クイックスタートガイド
4. リモコンと電池
5. VGA ケーブル
6. 交換用ランプ（別売り）（ランプを交換する場合は、専門の技術者に依頼してください。）
7. 携帯用ソフトケース（別売り）
8. VGA- コンポーネント アダプタ（別売り）
9. ダストフィルタ（別売り）

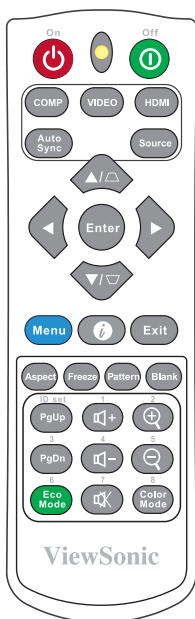
制御装置および機能

プロジェクター



- **電源**
スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
- △/▽ (**台形補正キー**)
投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
- ◀左/▶右/▲上/▼下
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効なとき、メニューアイテムを選択し、調整を行うことができます。
- Menu**
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。
- Exit**
前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。
- Source**
ソース選択バーを表示します。
- Ⓜ (**ヘルプ**)
3 秒間の長押しでヘルプメニューを表示します。
- Blank**
スクリーンの画像を非表示にします。
- Enter**
OSD メニューが有効なとき、選択した OSD メニューアイテムを有効にします。
- Color Mode**
有効な画像設定モードを選択します。
- 🔊+ (**音量を上げる**)
音量を上げます。
- 🔊- (**音量を下げる**)
音量を下げます。

リモコン



☞ リモートマウスのコントロールキー（ページを上へ、ページを下へ）を使用するには、8 ページの「リモート PgUp/PgDn 機能の使い方」を参照してください。

- On/Off
スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
- COMP
表示するソースをコンピュータ入力ポートから選択します。
- VIDEO
表示するソースを VIDEO または S-VIDEO ポートから選択します。
- HDMI
HDMI ポートから表示するソースを選択します。
- Auto Sync
表示画像に最適なタイミングを自動的に決定します。
- Source
ソース選択バーを表示します。
- ◻ / ◻ (台形補正キー)
投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
- Enter
選択したオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを実行します。
- ◀左/▶右/▲上/▼下
メニュー アイテムを選択し、調整を行います。
- Menu
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。
- ⓘ (情報)
情報メニューを表示します。

- **Exit**
メニュー設定を保存して終了します。
 - **Aspect**
縦横比選択バーを表示します。
 - **Freeze**
スクリーンの画像を静止させます。
 - **Pattern**
埋め込みテストパターンを表示します。
 - **Blank**
スクリーンの画像を非表示にします。
 - **PgUp (Page Up)/PgDn (Page Down)**
ページを上へ / 下へコマンド
(Microsoft PowerPoint など) に応答するディスプレイ ソフトウェア プログラム (接続した PC で) を操作します。
 - **Eco Mode**
ランプ モード選択バーを表示します。
 - **🔊+ (音量を上げる)**
音量を上げます。
 - **🔊- (音量を下げる)**
音量を下げます。
 - **🔇 (ミュート)**
プロジェクターの音声をオン / オフに切り替えます。
 - **🔍 (Zoom +)**
投写画像のサイズを拡大します。
 - **🔍 (Zoom -)**
投写画像のサイズを縮小します。
 - **Color Mode**
カラーモード選択バーを表示します。
- 📁 PC 入力信号が選択された場合にのみ使用できません。

リモコンコード

プロジェクターは、1 から 8 までの 8 つのリモコンコードに割り当てることができます。同時に複数のプロジェクターが作動しているときには、リモコンコードを切り換えることで他のリモコンの干渉を避けることができます。リモコンが対応するプロジェクターを切り換える前に、プロジェクターにリモコンコードを設定してください。

プロジェクターのコードを切り換えるには、**システム > リモコンコード**メニューで 1 から 8 中から選択してください。

リモコンのコードを切り換えるには、**ID set** とプロジェクターの OSD に設定されたリモコンコードの番号ボタンを同時に 5 秒以上押します。初期コードは 1 に設定されています。コードを 8 に切り替えると、リモコンで各プロジェクターを操作することができます。

📁 プロジェクターとリモコンに別のコードが設定されている場合は、リモコンからの応答はありません。そのような場合は、リモコンのコードを切り換えるように促すメッセージが表示されます。



リモート PgUp/PgDn 機能の使い方

リモコンを使ってコンピュータを操作できることで、プレゼンテーション時の柔軟性が高まります。

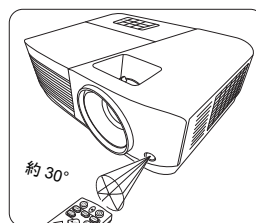
1. 入力信号を PC 信号に設定します。

2. コンピュータのマウスに組み込まれているリモコンを使用する前に、USB ケーブルを使ってプロジェクターをPCまたはノートブックに接続してください。詳細は、15 ページの「コンピュータまたはモニターの接続」を参照してください。
3. ページを上げる / 下げるコマンド（Microsoft PowerPoint など）に応答するディスプレイ ソフトウェア プログラム（接続した PC で）を操作するには、PgUp/PgDn を押します。

リモコンの有効範囲

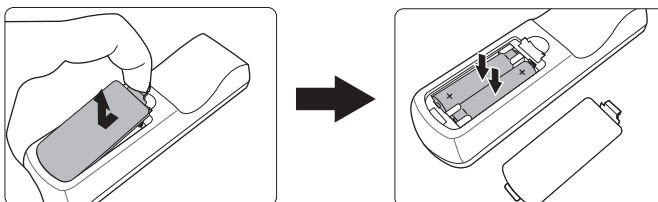
赤外線 (IR) リモコン センターの位置については、図をご覧ください。リモコンはプロジェクターの IR リモコン センサーに対して垂直に 30 度以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。リモコンとセンサーの距離は、8 メートル（～26 フィート）以内でなければなりません。

リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に障害物があると、赤外線光線が届かない場合があります。



リモコンの電池の交換

1. バッテリーカバーを開くには、リモコンを裏返してカバーのグリップを押し、図に示す方向にスライドさせてください。
2. 挿入されている電池を外し（必要な場合）、AAA（単4）電池 2 個を極性に注意しながら挿入してください。プラス極 (+) はプラスに、マイナス極 (-) はマイナスの方向に挿入してください。
3. 再びカバーを元に戻してください。カチッという音がしたらカバーが閉まったことを意味しています。



⚠ 注意

- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- また、使用済みの電池は各自自治体の回収規則にしたがって廃棄してください。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

プロジェクターの配置

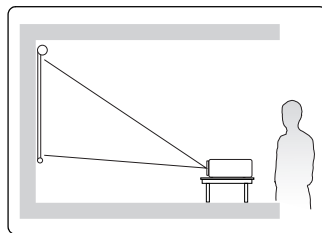
設置場所の選択

部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクターとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

本機は次の設置状態で使うことができます。

1.

プロジェクターをスクリーンの正面に床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。

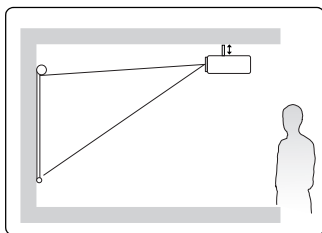


2.

プロジェクターを上下逆さにスクリーン正面の天井に取り付けます。

この方法で設置する場合は、プロジェクター天井取り付けキットをご購入ください。

プロジェクターの電源を入れた後で、**システム** > **プロジェクタの投写位置**メニューで**天井前面投写**を設定します。

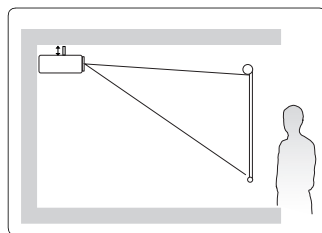


3.

プロジェクターを上下逆さにスクリーン背面の天井に取り付けます。

背面投写スクリーンとプロジェクター天井取り付けキットが必要です。

プロジェクターの電源を入れた後で、**システム** > **プロジェクタの投写位置**メニューで**天井リア投写**を設定します。

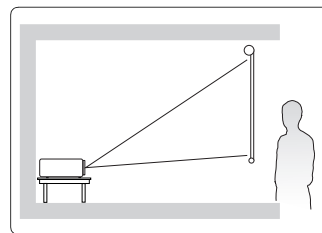


4. リア

プロジェクターをスクリーン背面、床面近くに設置します。

専用の背面投写スクリーンが必要です。

プロジェクターの電源を入れた後で、**システム** > **プロジェクタの投写位置**メニューで**リア投写**を設定します。

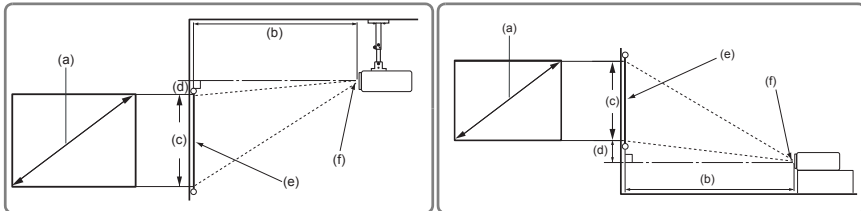


投写サイズ

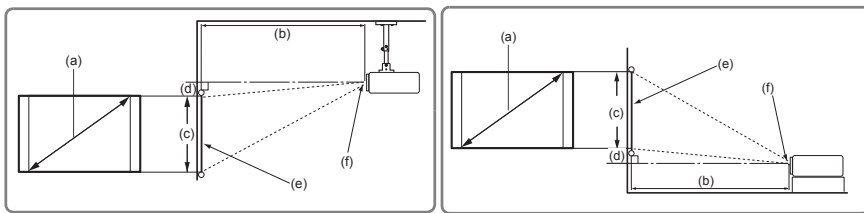
- 以下に説明する「画面」とは、スクリーン表面とサポート構造から構成される投写画面のことで、
- 本プロジェクターのネイティブ解像度については、66ページの「プロジェクターの仕様」を参照してください。

PA500S/PA503S/PA500X/PA503X

- 4:3 スクリーンの 4:3 画像



- 16:10 スクリーンの 4:3 画像



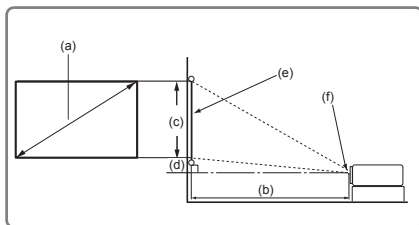
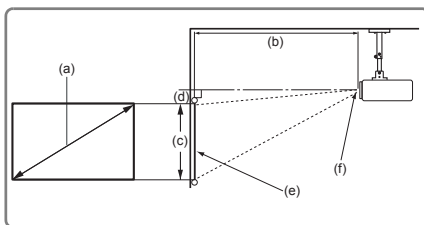
(e) : スクリーン (f) : レンズ中央

(a) スクリーン サイズ		4:3 スクリーンの 4:3 画像									
		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	94	2385	103	2623	36	914	3.6	91.4	3.6	91
70	1778	110	2782	120	3060	42	1067	4.2	106.7	4.2	107
80	2032	125	3179	138	3497	48	1219	4.8	121.9	4.8	122
90	2286	141	3577	155	3935	54	1372	5.4	137.2	5.4	137
100	2540	156	3974	172	4372	60	1524	6.0	152.4	6.0	152
110	2794	172	4372	189	4809	66	1676	6.6	167.6	6.6	168
120	3048	188	4769	207	5246	72	1829	7.2	182.9	7.2	183
130	3302	203	5167	224	5683	78	1981	7.8	198.1	7.8	198
140	3556	219	5564	241	6121	84	2134	8.4	213.4	8.4	213
150	3810	235	5962	258	6558	90	2286	9.0	228.6	9.0	229
160	4064	250	6359	275	6995	96	2438	9.6	243.8	9.6	244
170	4318	266	6756	293	7432	102	2591	10.2	259.1	10.2	259
180	4572	282	7154	310	7869	108	2743	10.8	274.3	10.8	274

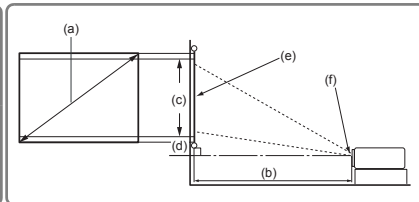
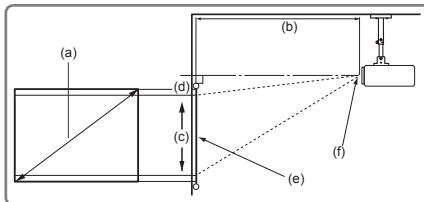
(a) スクリーン サイズ		16:10 スクリーンの 4:3 画像									
		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	83	2106	91	2317	32	808	3.2	81	3.2	81
70	1778	97	2457	106	2703	37	942	3.7	94	3.7	94
80	2032	111	2809	122	3089	42	1077	4.2	108	4.2	108
90	2286	124	3160	137	3476	48	1212	4.8	121	4.8	121
100	2540	138	3511	152	3862	53	1346	5.3	135	5.3	135
110	2794	152	3862	167	4248	58	1481	5.8	148	5.8	148
120	3048	166	4213	182	4634	64	1615	6.4	162	6.4	162
130	3302	180	4564	198	5020	69	1750	6.9	175	6.9	175
140	3556	194	4915	213	5406	74	1885	7.4	188	7.4	188
150	3810	207	5266	228	5793	79	2019	7.9	202	7.9	202
160	4064	221	5617	243	6179	85	2154	8.5	215	8.5	215
170	4318	235	5968	258	6565	90	2289	9.0	229	9.0	229
180	4572	249	6319	274	6951	95	2423	9.5	242	9.5	242

PA503W

- 16:10 スクリーンに 16:10 の画像



- 4:3 スクリーンに 16:10 の画像



(e) : スクリーン (f) : レンズ中央

(a) スクリーン サイズ		16:10 スクリーンに 16:10 の画像									
		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	79	2000	87	2200	32	808	0.0	0	0.0	0
70	1778	92	2333	101	2567	37	942	0.0	0	0.0	0
80	2032	105	2667	115	2933	42	1077	0.0	0	0.0	0
90	2286	118	3000	130	3300	48	1212	0.0	0	0.0	0
100	2540	131	3333	144	3667	53	1346	0.0	0	0.0	0
110	2794	144	3667	159	4033	58	1481	0.0	0	0.0	0
120	3048	157	4000	173	4400	64	1615	0.0	0	0.0	0
130	3302	171	4333	188	4767	69	1750	0.0	0	0.0	0
140	3556	184	4667	202	5133	74	1885	0.0	0	0.0	0
150	3810	197	5000	217	5500	79	2019	0.0	0	0.0	0
160	4064	210	5333	231	5867	85	2154	0.0	0	0.0	0
170	4318	223	5667	245	6233	90	2289	0.0	0	0.0	0
180	4572	236	6000	260	6600	95	2423	0.0	0	0.0	0

(a) スクリーン サイズ		4:3 スクリーンに 16:10 の画像									
		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	74	1887	82	2075	30	762	0.0	0	0.0	0
70	1778	87	2201	95	2421	35	889	0.0	0	0.0	0
80	2032	99	2516	109	2767	40	1016	0.0	0	0.0	0
90	2286	111	2830	123	3113	45	1143	0.0	0	0.0	0
100	2540	124	3145	136	3459	50	1270	0.0	0	0.0	0
110	2794	136	3459	150	3805	55	1397	0.0	0	0.0	0
120	3048	149	3774	163	4151	60	1524	0.0	0	0.0	0
130	3302	161	4088	177	4497	65	1651	0.0	0	0.0	0
140	3556	173	4403	191	4843	70	1778	0.0	0	0.0	0
150	3810	186	4717	204	5189	75	1905	0.0	0	0.0	0
160	4064	198	5031	218	5535	80	2032	0.0	0	0.0	0
170	4318	210	5346	232	5881	85	2159	0.0	0	0.0	0
180	4572	223	5660	245	6226	90	2286	0.0	0	0.0	0

☞ 光学部品の偏差のため、これらの数字には3%の公差があります。プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお勧めします。このように準備しておくことによって、プロジェクターを最適な位置に固定することができます。

接続

信号ソースをプロジェクターに接続する際には、次の点を確認してください。

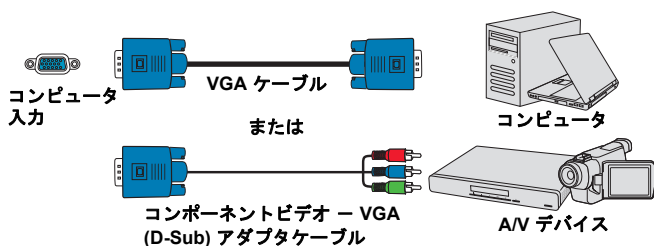
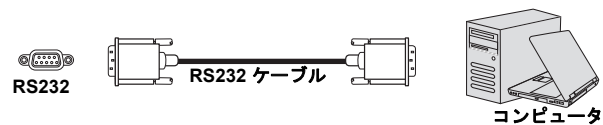
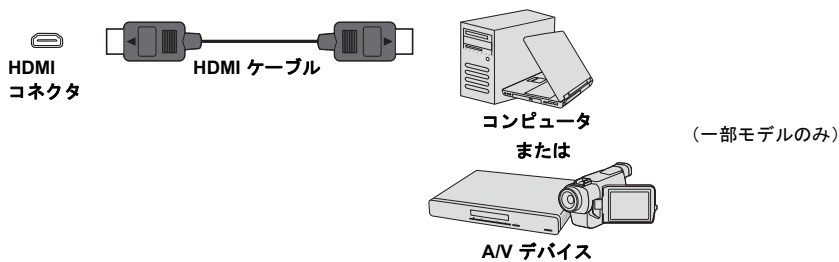
1. 接続を行う前にすべてのデバイスの電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

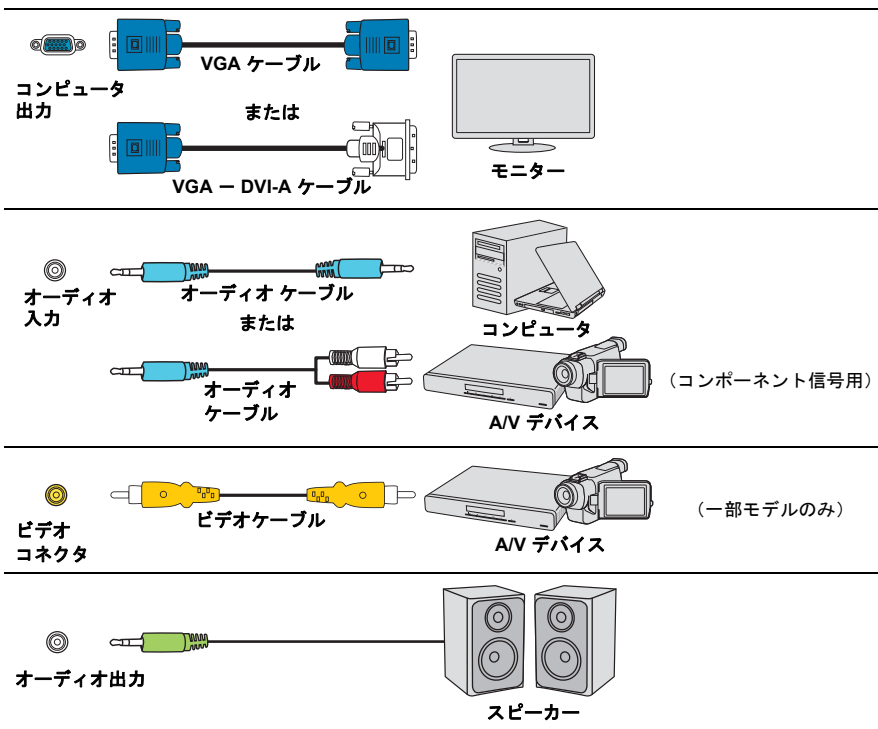
☞ 下に示す接続図のケーブルは、本機に付属していません。(詳細は、5ページの「パッケージ内容」を参照してください。) ケーブルはお近くの電気店で求めください。

☞ 下の接続図は参照用です。プロジェクターにある接続ジャックは、プロジェクターのモデル毎に異なります。

☞ 詳しい接続方法については、15-17 ページをご覧ください。

以下は、プロジェクターに付いている各コネクタの接続方法をまとめたものです。





コンピュータまたはモニターの接続

コンピュータの接続

1. 付属の VGA ケーブルをコンピュータの D-Sub 出力ソケットに繋ぎます。
2. VGA ケーブルのもう片端をプロジェクターの Computer 1 または Computer 2 信号入力ソケットに接続します。
3. マウスのリモート操作機能を使用するには、USB ケーブルでコンピュータの USB ポートとプロジェクターの Mini USB ソケットを接続します。詳細は、8 ページの「リモート PgUp/PgDn 機能の使い方」を参照してください。

☞ 多くのノートブックでは、プロジェクターを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常は「FN」+「F3」や CRT/LCD の組み合わせによって、外付けディスプレイをオン/オフにすることができます。CRT/LCD 機能キーまたは、ノートブック上でモニター記号が示された機能キーの場所を確認します。FN と記号が記された機能キーを同時に押します。ノートブックのキーの組み合わせについては、ノートブックの説明書を参照してください。

モニターの接続

プレゼンテーションをモニターとスクリーンの両方でクローズアップしたい場合は、次の図にしたがって VGA ケーブルを使ってプロジェクターの Monitor Out 信号出力ソケットを外側モニターに接続してください。

1. 15 ページの「コンピュータの接続」の説明にしたがって、プロジェクターをコンピュータに接続します。
2. 適切な VGA ケーブル（1 本のみ付属）の片端をビデオ モニターの D-Sub 入力ソケットに接続します。
または、モニターに DVI 入力ソケットが付いている場合は、VGA - DVI-A ケーブルの DVI 側をビデオ モニターの DVI 入力ソケットに接続します。
3. ケーブルのもう片端をプロジェクターの **Monitor Out** ソケットに接続します。

☞ **Monitor Out** 出力は、プロジェクターに **Computer 1** 接続を行った場合にのみ機能します。スタンバイモードでこの接続方式を使用するには、電源管理 > スタンバイ設定メニューで **VGA** 出力します機能を有効にしてください。

ビデオ入力源デバイスとの接続

プロジェクターは、次のいずれかの出力ソケットを備えた各種ビデオ入力源に接続できます。

- HDMI
- コンポーネントビデオ
- ビデオ（コンポジット）

いずれかの方法でプロジェクターとビデオ入力源デバイスを接続してください。ただし、方法によってビデオ品質が異なります。接続方法は、プロジェクターとビデオ入力源デバイスの両方に搭載されている端末に合ったものを選択してください。

最高の画質

最高品質を実現するビデオ接続方式は HDMI です。ソース機器に HDMI ソケットが装備されている場合は、未圧縮のデジタルビデオ品質をお楽しみいただけます。

プロジェクターを HDMI 入力機器に接続する方法などの情報は、17 ページの「**HDMI デバイスの接続**」を参照してください。

HDMI ソースを使用できない場合は、次に品質の高いビデオ信号はコンポーネントビデオです（コンポジットビデオと間違えないようにしてください）。デジタル TV チューナーと DVD プレーヤーは、コンポーネントビデオをネイティブで出力します。デバイスにこれらがある場合は、これが（コンポジット）ビデオに合った接続方式となります。

プロジェクターをコンポーネントビデオ機器に接続する方法については、17 ページの「**コンポーネントビデオ入力源デバイスとの接続**」を参照してください。

最低画質

コンポジットビデオはアナログビデオであり許容可能なレベルの画質ではありませんが、プロジェクターが発揮できる最高画質よりも品質が劣ります。ここで紹介する方法の中では最低の画質となります。

プロジェクターをコンポジットビデオ機器に接続する方法については、17 ページの「**コンポジットビデオソースデバイスとの接続**」をご覧ください。


オーディオ接続

プレゼンテーションでプロジェクターのスピーカーを使用し、さらに別にアンプスピーカーをプロジェクターのオーディオ出力ソケットに接続することも可能です。オーディオ出力は、プロジェクターの音量とミュート設定で制御します。

HDMI デバイスの接続

プロジェクターと HDMI デバイスを接続するには、HDMI ケーブルをお使いください。


1. HDMI ケーブルをビデオデバイスの HDMI 出力ポートに接続します。
2. ケーブルのもう片端をプロジェクターの HDMI 入力ポートに接続します。



 プロジェクターの HDMI 入力を介してプロジェクターと DVD プレーヤーを接続する場合、投写画像の色が正しく表示されない場合がありますが、その場合はカラースペースを YUV に変更してください。詳細は、22 ページの「HDMI 入力設定の変更」を参照してください。

コンポーネント ビデオ入力源デバイスとの接続

使用可能なコンポーネント ビデオ出力ソケットがあるか、ビデオ入力源デバイスを確認してください。

- ある場合は、手続きを続けてください。
 - ない場合は、別の方法でデバイスを接続してください。
1. VGA (D-Sub)- コンポーネント アダプタ ケーブルの 3 RCA タイプのコネクタが付いた方をビデオ入力源デバイスのコンポーネント ビデオ出力ソケットに接続します。プラグとソケットの色を合わせてください（緑は緑と、青は青と、赤は赤と）。
 2. VGA (D-Sub)- コンポーネント アダプタ ケーブル (D-Sub タイプコネクタ付き) をプロジェクターの Computer 1 または Computer 2 ソケットに接続します。


 正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されない場合は、ビデオソースの電源がオンになって正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

  VGA- コンポーネント アダプタ
(ViewSonic P/N : CB-00008906)

コンポジット ビデオソースデバイスとの接続

使用可能なコンポジット ビデオ出力ソケットがあるか、ビデオソースデバイスを確認してください。

- ある場合は、手続きを続けてください。
 - ない場合は、別の方法でデバイスを接続してください。
1. ビデオケーブルのビデオソースデバイスのコンポジット ビデオ出力ソケットに接続します。
 2. ビデオ ケーブルのもう片端をプロジェクターの Video ソケットに繋ぎます。

 正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されない場合は、ビデオソースの電源がオンになって正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

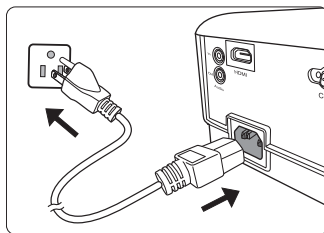
 コンポーネント ビデオ入力を使用できない場合にのみ、コンポジット ビデオ接続でこのデバイスを接続してください。詳細は、16 ページの「ビデオ入力源デバイスとの接続」を参照してください。

プロジェクターからサウンドを再生する

プレゼンテーションでプロジェクターのスピーカーを使用し、さらに別にアンブスピーカーをプロジェクターの Audio Out ソケットに接続することも可能です。

プロジェクターの起動

1. 電源コードをプロジェクターとコンセントに差し込みます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。
2. **⏻電源**を押してプロジェクターを起動します。ランプが点灯するとすぐに、「電源オンの音」が聞こえます。プロジェクターがオンの間中、**電源インジケータライト**が青く点灯します。
必要であれば、フォーカスリングを使って画像の鮮明さを調整してください。



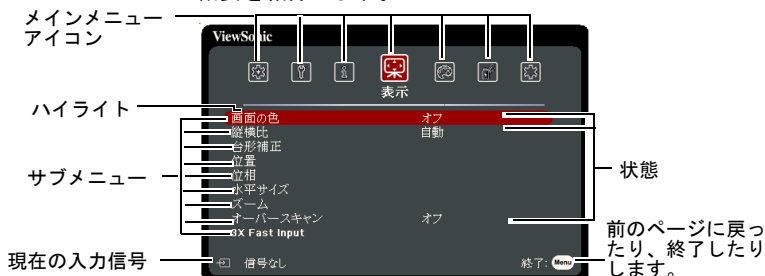
- ☞ プロジェクターが前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、ランプに電力が供給されるまで約 90 秒間冷却ファンが作動します。
 - ☞ ランプの寿命を延長するには、プロジェクターの電源を入れた後は電源を切るまで 5 分間お待ちください。
 - ☞ 通知音を切る方法については、[33 ページの「電源オン/オフ音をオフにする」](#)を参照してください。
3. 初めてプロジェクターを起動する場合は、画面の指示に従って OSD 言語を選択してください。
 4. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
 5. プロジェクターは入力信号の検索を開始します。スキャンされている入力信号がスクリーン左上隅に表示されます。プロジェクターが有効な信号を検出しない場合は、入力信号が検出されるまで「信号なし」のメッセージが表示され続けます。
入力信号を選択するには、**Source** を押してください。詳細は、[22 ページの「入力信号の切り替え」](#)を参照してください。
- ☞ 入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクターの動作範囲を超えた場合、「対応範囲外」というメッセージが消画スクリーンに表示されます。プロジェクターの解像度に合った入力信号に変えるか、入力信号を低い値に設定し直してください。詳細は、[62 ページの「タイミングチャート」](#)を参照してください。

メニューの使用法

このプロジェクターは、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

👉 下の OSD スクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

以下に OSD メニューの概要を紹介します。



OSD メニューを使用するには、先に言語を選択します。

1. **Menu** を押して OSD メニューをオンにします。
3. **▼** を押して言語を選択し、次に **Enter** を押してください。




2. **◀/▶** を使ってシステムメニューを選択します。
4. **◀/▲/▼/▶** を使って言語を選択します。
5. **Enter** を押してメインメニューに戻り、**Menu** を押すと OSD メニューが終了します。




パスワード機能を使用する

セキュリティのため、および許可されていないユーザーがプロジェクターを勝手に使用できないように、このプロジェクターにはパスワードを設定することができます。パスワードはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで設定します。OSD メニューの操作については、[19 ページの「メニューの使用方法」](#)をご参照ください。

 パスワード機能を有効にしたにも関わらず、パスワードを忘れてしまうと面倒なことになります。パスワードは書き留めておいて、安全な場所に保管しておいてください。

パスワードの設定

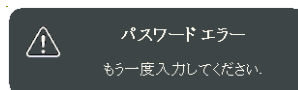
 一度パスワードを設定して電源オンロックを有効にすると、プロジェクターを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクターを使用することはできなくなります。

1. OSD メニューを開き、システム > セキュリティ設定 メニューを選択してください。
2. Enter を押すと、セキュリティ設定ページが開きます。
3. ◀/▶ を押して、電源ロックを選択した後でオンを選択します。
4. 右図に示す通り、4 つの矢印キー (◀、▲、▼、▶) はそれぞれ 4 つの数字 (1、2、3、4) を示しています。矢印キーを押して、6桁のパスワードを入力して設定します。
5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
パスワードの設定が完了すると、OSD メニューはセキュリティ設定ページに戻ります。
6. OSD メニューを終了するには、Exit を押します。



パスワードを忘れた場合

パスワード機能を有効にすると、プロジェクターをオンにするたびに6桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、右図のようなパスワードエラーメッセージが5秒間表示され、次に「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。別の6桁のパスワード上を押してもう一度やり直してください。またはパスワード忘れてしまい、さらに説明書にパスワードを記録しておかなかった場合は、パスワードの呼び戻し手続きを行ってください。詳細は、[21 ページの「パスワードの呼び戻しを行うには」](#)を参照してください。



パスワード入力を続けて5回間違えると、プロジェクターは間もなく自動的にシャットダウンします。

パスワードの呼び戻しを行うには

1. リモコンの Auto Sync を 3 秒間押します。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。
2. 番号を書き留めて、プロジェクターをオフにしてください。
3. 番号をデコードするには、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクターを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。



☞ 上記スクリーンショットの「XXX」に相当する番号は、プロジェクターモデル毎に異なります。

パスワードの変更


1. OSD メニューを開き、システム > セキュリティ設定 > パスワードの変更メニューを選択してください。
2. Enter を押します。すると「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。
3. 古いパスワードを入力してください。
 - パスワードが正しければ、「新しいパスワード」というメッセージが表示されます。
 - パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが 5 秒間表示され、「現在のパスワード」というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。Exit を押してキャンセルするか、別のパスワードをお試しください。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
6. プロジェクターに新しいパスワードが割り当てられました。次回プロジェクターを起動したときには、必ず新しいパスワードを入力してください。
7. OSD メニューを終了するには、Exit を押します。

☞ 入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。パスワードは書き留めておいて、安全な場所に保管しておいてください。

パスワード機能を無効にする

1. OSD メニューを開き、システム > セキュリティ設定 > 電源ロックメニューを選択してください。
2. ◀/▶ を押してオフを選択します。
3. すると「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。
 - パスワードが正しく入力された場合は、OSD メニューの電源ロックの欄に「オフ」と表示された状態でセキュリティ設定ページに戻ります。次回プロジェクターをオンにするときには、パスワードを入力する必要はありません。

- パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが5秒間表示され、「パスワードの入力」というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。Exitを押してキャンセルするか、別のパスワードをお試しください。

 パスワード機能を無効にしても、再びパスワード機能を有効にするときに古いパスワードを入力するよう要求されますので、古いパスワードは忘れないように記録し保管しておいてください。


入力信号の切り替え

プロジェクターは同時に複数の装置に接続することができます。ただし一度に表示できる装置は1台です。

プロジェクターに自動的に信号を検出させるためには、**システムメニューでクイック自動検索機能がオン**になっていることを確認してください。

また、リモコンのソース選択キーを押して信号を手動で選択したり、使用可能な入力信号を切り替えることもできます。

1. **Source** を押します。ソース選択バーが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで **▲/▼** を押し、次に **Enter** を押します。
信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。プロジェクターに複数のデバイスが接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

 本プロジェクターのネイティブ解像度については、[66 ページの「プロジェクターの仕様」](#)を参照してください。最高の画質にするには、この解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、「縦横比」の設定によってプロジェクターが画像の縦横比を変更してしまうため、画像が歪んだり、鮮明さが失われたりします。詳細は、[24 ページの「縦横比の選択」](#)を参照してください。

HDMI 入力設定の変更

プロジェクターの HDMI 入力を介してプロジェクターとデバイス（DVD や Blu-ray など）を接続するような場合、プロジェクターの画像の色が正しく表示されないことがあります。カラースペースを出力機器のカラースペース設定に合ったものに変更してください。

これを実行するには：

1. OSD メニューを開き、**詳細 > HDMI 設定** メニューを選択してください。
2. **Enter** を押します。
3. **HDMI フォーマット** を選択した後で **◀/▶** を押して、接続した出力機器のカラースペース設定に基づいて適切なカラースペースを選択します。
 - **RGB**：カラースペースを RGB に設定します。
 - **YUV**：カラースペースを YUV に設定します。
 - **自動**：入力信号のカラースペース設定が自動的に検出されるようにプロジェクターを設定します。
4. **HDMI 範囲** を選択した後で **◀/▶** を押して、接続した出力機器のカラースペースの設定に基づいて適切な HDMI カラー範囲を選択します。
 - **拡張**：HDMI カラー範囲を 0 - 255 として設定します。
 - **ノーマル**：HDMI カラー範囲を 15 - 235 として設定します。

- ・ **自動**：プロジェクターに入力信号の HDMI 範囲を自動的に検出させます。

この機能は HDMI 入力ポート使用中にしか有効になりません。

カラースペースと HDMI 範囲の設定については、機器の取り扱い説明書をご覧ください。

投写画像の調整

投写角度の調整

プロジェクターには高さ調整用脚が 1 個付いています。この調整用脚を使用すると、画像の高さと縦の投写角度を変更できます。高さ調節用脚を使って、画像が正しく表示されるように角度を微調整してください。

プロジェクターが床に対して水平な場所に設置されていない場合、またはスクリーンとプロジェクターが垂直に設置されていない場合は、投写画像が台形になります。このような問題を補正する方法については、24 ページの「キーストーンの補正」を参照してください。

⚠ ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。

画像の自動調整

場合によっては、画質を最適化する必要が生じることもあります。これを実行するには、リモコンの Auto Sync を押します。組み込みのインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、5 秒以内に最適な画質が得られます。

下図のように、現在のソース情報がスクリーンの左上隅に 3 秒間表示されます。

自動調整が作動している間は、画面に ViewSonic ロゴが表示されます。

この機能は PC D-Sub 入力信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。

画像の明瞭さの微調整

1. 投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。
2. 必要であれば、フォーカスリングを回して焦点を合わせます。



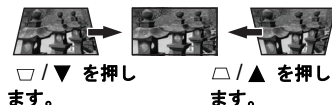
キーストーンの補正

キーストーンとは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまっている状態のことです。

これを修正するには、プロジェクターの高さを調整するほか、次のいずれかの手順に従って手動で修正する必要があります。

・ リモコンの使用方法

1. □ / ▢ を押すと、キーストーン補正ページが表示されます。
2. ▢ を押すと、画像の上部のキーストーンが補正されます。□ を押すと、画像の下部のキーストーンが補正されます。



・ OSD メニューの使用方法

1. OSD メニューを開き、**表示** > **台形補正**メニューを選択してください。
2. **Enter** を押します。
3. 画像の上部の歪みを調整するには ▢ を押します。画像の底部の歪みを調整するには、□ を押します。

詳細の拡大と検索


投写画像で詳細を見つけ出したい場合は、画像を拡大してください。矢印キーを使用すると、画像をナビゲートできます。


・ リモコンの使用方法

1. リモコンの **Q** を繰り返し押すと、画像を任意のサイズに拡大できます。
2. 画像をナビゲートするには、方向矢印（◀、▲、▼、▶）を押します。
3. 画像のサイズを縮小するには、リモコンの **Auto Sync** を押すと元のサイズに戻ります。または、**Q** を繰り返し押します。

・ OSD メニューの使用方法

1. OSD メニューを開き、**表示** > **ズーム**メニューを選択してください。
2. **Enter** を押します。するとズームバーが表示されます。
3. 先のリモコンの使用方法セクションの 2-3 ステップを行います。

 この調整可能な範囲は、縦横比によって変わります。

 画像は拡大しなければナビゲートできません。詳細を検索しながら、画像をさらに拡大することができます。

縦横比の選択

「縦横比」とは、イメージの幅と高さの比率のことです。

デジタル信号処理能力が進化するにつれて、このプロジェクターのようなデジタルディスプレイ装置はイメージ出力をイメージ入力信号とは異なるアスペクトにまで拡張できるようになりました。

投写イメージの比率を変更する（ソースの縦横比に関係なく）：


1. OSD メニューを開き、**表示** > **縦横比**メニューを選択してください。
2. **Enter** を押します。


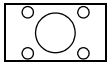
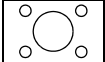

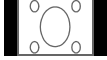



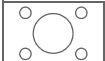
- ▲/▼ を押して、ビデオ信号のフォーマットとディスプレイの条件に合わせて適切な縦横比を選択してください。

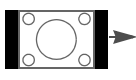
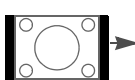

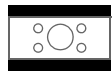
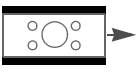
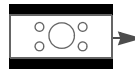
縦横比について

- 自動**：イメージをプロジェクター本来の解像度の水平幅に合わせて表示します。これは入力イメージが 4:3 でも 16:9 でもなく、画像の縦横比を変えずにスクリーンを有効に活用したいときに便利です。
- 4:3**：スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更せずにすむため、ある種のコンピュータモニター、標準精度の TV、縦横比 4:3 の DVD ムービーなどの 4:3 イメージに適しています。
- 16:9** (PA500S/PA503S/PA500X/PA503X)：スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。この設定は、縦横比を変更する必要がないため高精度 TV など、すでに縦横比が 16:9 になっているイメージに適しています。
- 16:10** (PA503W)：スクリーンの中央が 16:10 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更する必要のない、縦横比 16:10 の画像に適しています。
- パノラマ** (PA503W)：高さをプロジェクターのネイティブ解像度に合わせて画像の縦横比を維持しながらスケール調整し、ノンリニアでスクリーンいっぱいに表示します。
- 2.35:1**：画像の縦横比を維持しながら、スクリーンの中心が 2.35:1 になるように画像を調整します。
- アナモフィック** (PA503W)：画像がスクリーンいっぱいに表示されるように 2.35:1 にスケール調整します。

下の表は、異なるネイティブ解像度を持つプロジェクターの縦横比の設定の効果を一覧にしたものです。本プロジェクターのネイティブ解像度については、[66 ページの「プロジェクターの仕様」](#)を参照してください。

 下の図では黒い部分が無効になったエリアで、白い部分が有効なエリアです。未使用の黒いエリアには OSD メニューを表示することができます。

縦横比の設定	プロジェクターのネイティブの縦横比が ...		
	4:3	16:9	16:10
自動			
4:3			
16:9			使用不可
16:10	使用不可	使用不可	

パノラマ	使用不可		
2.35:1			
アナモフィック	使用不可		

画像の最適化

ピクチャモードの選択

このプロジェクターは操作環境や入力信号のピクチャタイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードが設定されています。

用途に合った操作モードを選択するには、次のいずれかの手順にしたがってください。

- **Color Mode** を押して選択バーを表示し、▲/▼ を押してモードを選択します。または、**Color Mode** を繰り返し押ししてください。
- **画像 > カラーモード**メニューを開き、**Enter** を押します。▲/▼ を押して、モードを選択します。

信号タイプ毎のピクチャモード

信号タイプ毎のピクチャモードは、次の表のとおりです。

1. **最大輝度モード**：画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクターを明るい部屋で使用する場合など）。
2. **プレゼンテーションモード**：日中、PC やノートブックのカラーリングに合わせてプレゼンテーションを行うためのモードです。
3. **標準モード**：日中の標準の環境のときに選択します。
4. **フォトモード**：画像を表示するときに選択します。
5. **ムービーモード**：このモードはやや暗めの部屋で、PC 入力を介してデジタルカメラや DV からカラームービーやビデオクリップを再生するのに適しています。

画面の色の使い方

白以外でペイントされた壁に画像を投写するような場合は、入力源の色と投写画像の色の違いを補正するために**画面の色**機能を使うことができます。

この機能を使用するには、**表示 > 画面の色**メニューに進み、**Enter** を押します。▲/▼ を押して投写面の色に近い色を選択します。あらかじめ調整された色には次のようなものがあります：**ホワイトボード**、**グリーンボード**、**黒板**。これらの設定の効果は、モデル毎に異なります。

 この機能はコンピュータ入力信号が選択されている場合にしか使用できません。

ユーザーモードの画質の微調整

検出した信号タイプに応じて、いくつかの機能をユーザー定義することができます。必要に応じてこれらの機能を調整してください。

輝度の調整

画像 > 輝度メニューを開き、Enter を押します。

値を高くするほどイメージの輝度が増加します。設定値が小さいほどイメージは暗くなります。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。



コントラストの調整

画像 > コントラストメニューを開き、Enter を押します。

値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて輝度を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。



色の調整

画像 > 詳細設定 > 色メニューに進み、◀/▶ を選択します。

設定を下げると、彩度が低くなります。逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。

☞ この機能は、入力信号がビデオ、YPbPr、YCbCr に選択されている場合にしか使用できません。

色調の調整

画像 > 詳細設定 > 色調メニューに進み、◀/▶ を選択します。

値を高くするほど緑がかった画像になります。値を低くするほど赤味がかった画像になります。

☞ この機能は、入力信号がビデオ、YPbPr、YCbCr に選択されている場合にしか使用できません。

シャープネスの調整

画像 > 詳細設定 > シャープネスメニューに進み、◀/▶ を選択します。

値を高くするほど画像がシャープになります。値を低くするほど画像が柔らかくなります。

☞ この機能は、入力信号がビデオ、YPbPr、YCbCr に選択されている場合にしか使用できません。

Brilliant Color の調整

画像 > 詳細設定 > Brilliant Color メニューに進み、◀/▶ を選択します。

この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、投写映像によりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。ビデオや自然のシーンでよく見られる中間調イメージであれば、50% 以上も輝度を上げることができますので、リアルで自然な色を再現することが可能です。高画質が必要な場合は、必要に応じてレベルを調整してください。そうでない場合は、オフを選択してください。

画像ノイズの低減

画像 > 詳細設定 > Noise Reduction メニューに進み、◀/▶ を選択します。

異なるメディアプレーヤによる電気画像ノイズを軽減します。値を高くするほどノイズが少なくなります。

 この機能はPCまたはビデオ入力信号が選択されている場合にしか使用できません。

ガンマ設定の選択

画像 > 詳細設定 > ガンマ メニューを選択し、◀/▶ を押して任意の設定を選択します。

ガンマとは、入力ソースと画像の輝度の関連性のことです。

色温度の選択

画像 > 色温度メニューを開き、◀/▶ を選択します。

色温度設定のオプションは、選択した信号タイプによって異なります。

1. **冷**：最高の色温度のとき、**冷**は他の設定よりも画像をより青白く再現します。
2. **ノーマル**：白の色合いを通常に保ちます。
3. **暖**：画像を赤みがかった白で表示します。

任意の色温度を設定

1. 画像 > 色温度メニューを開き、Enter を押します。
2. ◀/▶ を押して**冷**、**ノーマル**、または**暖**を押して Enter を押します。
3. ▲/▼ を押して変更したいアイテムを選択し、◀/▶ を押して値を調整します。
 - **赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン**：赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。
 - **赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット**：赤、緑、青の輝度レベルを調整します。

 この機能はコンピュータ入力信号が選択されている場合にしか使用できません。

色管理

重役会議室、レクチャシアター、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合に限り、カラーマネージメントが必要となります。カラーマネージメントを使用すると、色をより正確に再現するために、より詳細に色を調整することができます。

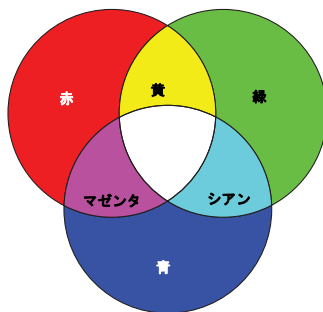
さまざまな色テストパターンが含まれたテストディスクを購入された場合は、モニター、TV、プロジェクターなどでの色表示をテストすることができます。ディスクに保管された画像ならどれでもスクリーンに投写することが可能であり、カラーマネージメントメニューで調整することができます。

設定を調整するには：

1. OSD メニューを開き、画像 > 詳細設定 > カラーマネージメントメニューを選択してください。
2. Enter を押すと、カラーマネージメントページが開きます。
3. **原色**を選択した後で ◀/▶ を押して、赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの中から色を選択します。
4. ▼ を押して**色相**を選択し、◀/▶ を押して範囲を選択します。範囲を広げると、隣り合う2色のより広い範囲の色が含まれます。

各色がどのように関連し合っているのかについては、右図を参照してください。

例えば、赤を選択し、その範囲を0に設定した場合、投写画像の中で純粋な赤だけが選択されます。範囲を広げると、黄に近い赤やマゼンタに近い赤も含まれます。



- ▼ を押して**彩度**を選択し、◀/▶ を押して値を調整します。調整内容は直ちに画像に反映されます。

例えば、赤を選択し、その範囲を0に設定した場合、純粋な赤の彩度だけが影響を受けます。

☞ 彩度はビデオ映像の色の量のことです。値を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。

- ▼ を押して**ゲイン**を選択し、◀/▶ を押して値を調整します。選択した原色のコントラストレベルが影響を受けます。調整内容は直ちに画像に反映されます。
- 他のカラーマネージメントも行う場合は、ステップ3から6を繰り返してください。
- すべて調整が完了したことを確認してください。

プレゼンテーションタイマーの設定

プレゼンテーションタイマーはプレゼンテーション時間をスクリーン上に表示して、発表者が上手く時間管理できるようにします。この機能を使用するには、次の手順にしたがってください。

- 基本 > プレゼンテーションタイマー**メニューに進みます。
- Enter を押して**プレゼンテーションタイマー**ページを表示します。
- タイマーの時間**を選択し、◀/▶ を使ってプレゼンテーション時間を設定します。タイマー時間は1分から5分まで1分おきに、5から240分まで5分おきに設定できます。

☞すでにタイマーがオンになっている場合は、タイマーの時間をリセットするとタイマーがカウントを新しく開始します。

- ▼ を押して**タイマー表示**を選択し、◀/▶ を押してタイマーを画面に表示するかどうかを選択します。

選択	説明
常に使用する	プレゼンテーション中、常にタイマーをスクリーン上に表示します。
1分/2分/3分	タイマーを最後の1/2/3分間だけ表示します。
常に使用しない	プレゼンテーション中、タイマーを表示しません。

- ▼ を押して**タイマーの位置**を選択し、◀/▶ を押してタイマーの位置を決定します。

左上 → 左下 → 右上 → 右下

6. ▼ を押して**タイマーのカウント方法**を選択し、◀/▶ を押してカウント方向を選択します。

選択	説明
増加	0 からあらかじめ設定した時間までカウントを重ねます。
減少	あらかじめ設定した時間から 0 までカウントダウンします。

7. ▼ を押して**サウンドによる通知**を選択し、◀/▶ を押すことによってサウンドによる通知を有効にするかどうかを決定してください。**オン**を選択すると、カウントダウン/アップが残り 30 秒になると、ピーツという音が 2 回鳴り、タイプアップすると 3 回鳴ります。
8. プレゼンテーションタイマーを有効にするには、▼ を押した後、◀/▶ を押して**カウント開始**を選択し、Enter を押します。
9. 確認のメッセージが表示されます。**はい**を選択して、Enter を押します。スクリーン上に「**タイマーはオンです**」というメッセージが表示されます。タイマーがオンになると、タイマーがカウントを開始します。

タイマーを中止するには、次の手順にしたがってください。

1. **基本** > **プレゼンテーションタイマー**メニューに進みます。
2. **オフ**を選択してください。Enter を押します。確認のメッセージが表示されます。
3. **はい**を選択して、Enter を押します。スクリーン上に「**タイマーはオフです**」というメッセージが表示されます。

画像を隠す

プロジェクターリモコンの **Blank** を押すとスクリーンの画像が消えるため、聴衆の関心をすべて講演者に向けることができます。プロジェクターまたはリモコンのキーをどれでも押すと、画像を再開することができます。イメージが非表示になると、スクリーンの隅に、「**BLANK**」と表示されます。


消画時間を **基本** > **画面オフタイマー**メニューで設定しておく、消画面で何も操作が行われないうちには、一定時間が経過すると自動的にプロジェクターが画像を表示します。

 **Blank** を押すと、プロジェクターのランプが自動的にスーパーエコモードに入ります。

注意

投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し、火災の原因となり危険です。

コントロールキーをロックする

プロジェクターのコントロールキーをロックしておく、(例えばお子様によって) プロジェクターの設定が誤って変更されるのを防止することができます。パネルキーロックがオンになっているときには、プロジェクターのコントロールキーは  **電源** を除き、どれも作動しません。

1. **システム** > **パネルキーロック**メニューに進みます。
2. Enter を押した後、▲/▼ を押して**オン**を選択します。
3. すると確認のメッセージが表示されます。**はい**を選択して確定します。パネルキーロックを解除するには、プロジェクターの ▶ を 3 秒間押します。

リモコンを使ってシステム > パネル キー ロックメニューに入り、オフを選択します。

☞ パネルキー ロックが有効になっていても、リモコンのキーは使用できます。

☞ パネルキー ロックを無効にせずに電源を押してプロジェクターをオフにすると、プロジェクターを次回オンにしたときにもロックされたままの状態になっています。

高地での操作

海拔 1500 m ~ 3000 m、気温 0°C ~ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、**高地対応モード**を使用されるようお勧めします。

⚠ 注意

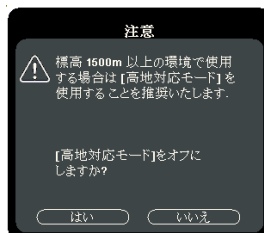
高度 0 m ~ 1499 m、温度 0°C ~ 35°C の範囲内では高地対応モードは使用しないでください。このような環境でこのモードを有効にすると、プロジェクターが過度に冷却されてしまいます。

高地対応モードに設定するには：

1. OSD メニューを開き、システム > 高地対応モードメニューを選択してください。
2. Enter を押した後、◀/▶ を押してオンを選択します。すると確認のメッセージが表示されます。
3. はいを選択し、Enter を押します。

「高地対応モード」を選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。

上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクターを使用すると、プロジェクターが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクターを過熱から保護するために施された機能です。このような場合は、高地対応モードに切り替えてこのような現象を解決してみてください。ただし、これはこのプロジェクターが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。



CEC 機能の使い方

このプロジェクターは、HDMI 接続を介して電源のオン / オフ操作を同期できる CEC (Consumer Electronics Control) 機能に対応しています。つまり、CEC 機能に対応しているデバイスがプロジェクターの HDMI 入力に接続されていると、プロジェクターの電源を切ったときには、接続したデバイスの電源も自動的に切れません。接続してあるデバイスの電源を入れると、プロジェクターの電源も自動的に入ります。

CEC 機能を有効にする：

1. OSD メニューを開き、電源管理 > 自動電源オン > CEC メニューを選択してください。
2. ◀/▶ を押して有効を選択します。

☞ CEC 機能を正常に機能させるには、HDMI ケーブルでデバイスをプロジェクターの HDMI 入力に正しく接続すると CEC 機能が有効になります。

☞ 接続したデバイスによっては、CEC 機能が作動しない場合があります。

3D 機能の使用法

このプロジェクターには、画像に深みを与えることで3Dムービー、動画、スポーツイベントをよりリアルにご覧いただける3D機能が搭載されています。3D映像をご覧になるには、3Dメガネを着用する必要があります。

HDMI 1.4a 対応デバイスから3D信号が出力されている場合は、プロジェクターは3D同期情報の信号を検出し、自動的に3D形式で投写します。それ以外の場合は、3D画像を正しく投写するためには手動で3D同期フォーマットを選択する必要があります。

1. **詳細** > **3D 設定** メニューに進みます。
2. **Enter** を押します。すると **3D 設定** ページが表示されます。
3. **3D 同期** を選択し、**Enter** を押します。
4. **▼** を押して **3D 同期** 設定を選択し、**Enter** を押して確定します。

 3D 同期機能がオンのとき：

- 投写画像の輝度レベルが下がります。
- カラーモードは調整できません。
- ズーム機能は、画像を一定のサイズまで拡大します。

3D 画像の深さが逆転しているときには、3D 逆同期機能を逆転に設定してください。

スタンバイモードでプロジェクターを使う

プロジェクターの一部の機能はスタンバイモード（接続されているがオンになっていない）で使用することができます。これらの機能を使用するには、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。接続方式については、[接続](#)の章を参照してください。

VGA 出力します

電源管理 > **スタンバイ設定** > **VGA 出力します** で **オン** を選択すると、**Computer 1** ソケットと **Monitor Out** ソケットが正しくデバイスに接続されていれば VGA 信号が出力されます。このプロジェクターは、**Computer 1** から受信した信号のみ出力します。

オーディオ出力有効

電源管理 > **スタンバイ設定** > **オーディオ出力有効** で **オン** を選択すると、**Audio In** ソケットと **Audio Out** ソケットが正しいデバイスに正しく接続されていればオーディオ信号が出力されます。

サウンドの調整

次の手順はプロジェクターのスピーカーの音量調整を行うためのものです。プロジェクターのオーディオ入力/出力ジャックが正しく接続されていることを確認してください。詳細は、[14 ページ](#)の「[接続](#)」を参照してください。

無音にする

1. OSD メニューを開き、**基本** > **オーディオ設定** > **ミュートメニュー** を選択してください。
2. **◀/▶** を押して **オン** を選択します。

音量を調整する

1. OSDメニューを開き、**基本 > オーディオ設定 > オーディオ音量メニュー**を選択してください。
2. ◀/▶ を押して、音量を選択します。

☞ 使用可能な場合は、リモコンの /◀▶ を押すとプロジェクターの音量を調整できます。

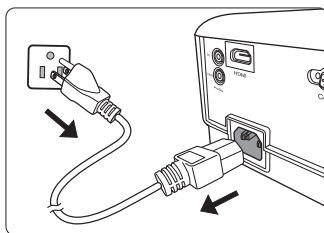
電源オン/オフ音をオフにする

1. OSDメニューを開き、**基本 > オーディオ設定 > 電源オン/オフ音メニュー**を選択してください。
2. ◀/▶ を押してオフを選択します。

☞ 電源オン/オフ音を変更するには、ここでオンまたはオフを設定する以外に方法はありません。無音にしたり、音量を変更したりしても、電源オン/オフ音には影響しません。

プロジェクターをシャットダウンする

1. ①電源または①Offを押すと、確認を促すメッセージが表示されます。
数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。
2. 再度①電源または①Offを押します。
3. 冷却が完了すると、「電源オフ音」が聞こえます。長時間プロジェクターを使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。



☞ 通知音を切る方法については、[33 ページの「電源オン/オフ音をオフにする」](#)を参照してください。

⚠ 注意

- ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。
- プロジェクターのシャットダウンシーケンスが完了するまでは、電源コードを抜かないでください。

メニューの操作

メニュー システム

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューは、選択した信号のタイプにより異なります。

メニューアイテムはプロジェクターが最低1つの有効な信号を検出しなければ有効にはなりません。プロジェクターに装置が接続されていなかったり、信号が何も検出されなければ、限られたメニューアイテムにしかアクセスすることができません。








メインメニュー	サブメニュー	オプション	
1. 表示	画面の色	オフ / 黒板 / グリーンボード / ホワイトボード	
	縦横比	自動 / 4:3 / 16:9 (PA500S/PA503S/PA500X/PA503X) / 16:10 (PA503W) / パノラマ (PA503W) / 2.35:1 / アナモフィック (PA503W)	
	台形補正	縦	
	位置		
	位相		
	水平サイズ		
	ズーム		
	オーバースキャン	オフ / 1/2/3/4/5	
	3X Fast Input	非アクティブ / アクティブ	
	2. 画像	カラーモード	最大輝度 / プレゼンテーション / 標準 / フォト / ムービー
輝度			
コントラスト			
色温度		暖	赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン / 赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット
		ノーマル	
冷			
		色	
色調			
シャープネス			
ガンマ		C1/C2/C3/C4/C5/C6/C7/C8/G1/G2/G3/G4/G5/sRGB/DICOM SIM	
詳細設定		Brilliant Color	オフ / 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10
		Noise Reduction	
		原色	
		カラーマネージメント	色相 彩度 ゲイン
カラー設定をリセットする		リセット / キャンセル	

メインメニュー	サブメニュー	オプション	
3. 電源管理	自動電源オン	信号	無効 /VGA
		CEC (PA503S/PA503X/PA503W)	無効 / 有効
		ダイレクト電源オン	オフ / オン
	スマート エネルギー	自動パワーオフ	無効 /10 分 /20 分 /30 分
		スリープ タイマー	無効 /30 分 /1 時間 /2 時間 /3 時間 /4 時間 /8 時間 /12 時間
		省電力	有効 / 無効
	スタンバイ設定	VGA 出力します	オフ / オン
		オーディオ出力有効	オフ / オン
	スマート再起動		無効 / 有効
	クイック電源オフ		無効 / 有効
4. 基本	オーディオ設定	ミュート	オン / オフ
		オーディオ音量	
		電源オン / オフ音	オン / オフ
	プレゼンテーション タイマー	タイマーの時間	1~240 m
		タイマー表示	常に使用する /1 分 /2 分 /3 分
		タイマーの位置	左上 / 左下 / 右上 / 右下
		タイマーのカウント方法	減少 / 増加
		サウンドによる通知	オン / オフ
		カウント開始 / オフ	
	パターン		オフ / テストカード / メモ帳 / 世界地図 / 五線譜 / トレリスチャート
	画面オフタイマー		無効 /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 /25 分 /30 分
	メッセージ		オン / オフ
	スプラッシュスクリーン		黒 / 青 /ViewSonic/ オフ





メインメニュー	サブメニュー	オプション	
5. 詳細	3D 設定	3D 同期	自動 / オフ / F. シーケンシャル / フレームパッキング / 上 - 下 / 横に並べる
		3D 逆同期	無効 / 逆転
	HDMI 設定 (PA503S/PA503X/ PA503W)	HDMI フォーマット	自動 / RGB/YUV
		HDMI 範囲	自動 / 拡張 / ノーマル
	ランプ設定	ランプモード	ノーマル / Eco / ダイナミック / スーパーエコ
		ランプ時間をリセット ランプ時間	
	フィルタ設定	フィルタモード	オン / オフ
		フィルタ時間をリセット フィルタ時間	リセット / キャンセル
		フィルタ時間	
	DCR		オン / オフ
	クローズドキャプション (PA503S/ PA503X/PA503W)	クローズドキャプション有効	オン / オフ
		キャプションバージョン	CC1/CC2/CC3/CC4
設定をリセットする		リセット / キャンセル	
6. システム	言語	多言語 OSD 選択	
	プロジェクタの投写位置	前面投写 / リア投写 / 天井リア投写 / 天井前面投写	
	メニュー設定	メニュー表示時間	5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒
		メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 左下 / 右下
	高地対応モード	オン / オフ	
	クイック自動検索	オフ / オン	
	セキュリティ設定	パスワードの変更	
		電源ロック	オフ / オン
	パネル キー ロック	オフ / オン	
	リモコンコード		1/2/3/4/5/6/7/8
Baud Rate (ボーレート)		115200/2400/4800/9600/ 14400/19200/38400/ 57600	



メインメニュー	サブメニュー	オプション
7. 情報	<ul style="list-style-type: none">• ソース• カラーモード• 解像度• カラー システム• ファームウェアバージョン• 3X Fast Input• S/N	



各メニューの説明

機能	説明
画面の色	詳細は、26 ページの「画面の色の使い方」を参照してください。
縦横比	詳細は、24 ページの「縦横比の選択」を参照してください。
台形補正	詳細は、24 ページの「キーストーンの補正」を参照してください。
位置	<p>位置調整ページが開きます。投写画像を移動させるには、方向矢印キーを使用します。ページの下に表示される値は、キーを押すたびにその最高値または最低値に達するまで変化します。</p> <p> この機能は PC 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p> <p> 調整範囲はタイミング毎に異なります。</p>
位相	<p>画像の歪みを減少させるためにクロック位相を調整します。</p>  <p> この機能は PC 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
水平サイズ	<p>イメージの幅を調整します。</p> <p> この機能は PC 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
ズーム	詳細は、24 ページの「詳細の拡大と検索」を参照してください。
オーバースキャン	<p>オーバースキャン率を 0% から 5% の範囲で調整します。</p> <p> この機能はコンポジットビデオまたは HDMI 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
3X Fast Input	<p>はいを選択すると、機能が有効になります。この機能は、フレームレートを下げたいときに有効です。ネイティブタイミングでは応答時間が早くなります。有効にすると、次の設定が初期値に戻されます：縦横比、台形補正、位置、ズーム、オーバースキャン。</p> <p> この機能は、ネイティブのタイミング入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>

機能	説明
カラーモード	詳細は、26 ページの「ピクチャモードの選択」を参照してください。
輝度	詳細は、27 ページの「輝度の調整」を参照してください。
コントラスト	詳細は、27 ページの「コントラストの調整」を参照してください。
色温度	詳細は、28 ページの「色温度の選択」と 28 ページの「任意の色温度を設定」を参照してください。
2. 画像メニュー 詳細設定	<p>色 詳細は、27 ページの「色の調整」を参照してください。</p> <p>色調 詳細は、27 ページの「色調の調整」を参照してください。</p> <p>シャープネス 詳細は、27 ページの「シャープネスの調整」を参照してください。</p> <p>ガンマ 詳細は、28 ページの「ガンマ設定の選択」を参照してください。</p> <p>Brilliant Color 詳細は、27 ページの「Brilliant Color の調整」を参照してください。</p> <p>Noise Reduction 詳細は、27 ページの「画像ノイズの低減」を参照してください。</p> <p>カラーマネージメント 詳細は、28 ページの「色管理」を参照してください。</p>
カラー設定をリセットする	すべての色設定を工場出荷時の値に戻します。

機能	説明
自動電源オン	<p>信号 VGA を選択すると、VGA ケーブルから VGA 信号が入力されると、プロジェクターが自動的にオンになります。</p> <p>CEC 詳細は、31 ページの「CEC 機能の使い方」を参照してください。</p> <p>ダイレクト電源オン オンに設定すると、電源コードから電源が供給されたときに、プロジェクターが自動的にオンになります。</p>
スマート エネルギー	<p>自動パワーオフ 詳細は、46 ページの「設定自動パワーオフ」を参照してください。</p> <p>スリープタイマー 詳細は、47 ページの「設定スリープタイマー」を参照してください。</p> <p>省電力 詳細は、47 ページの「設定省電力」を参照してください。</p>
スタンバイ設定	<p>詳細は、32 ページの「スタンバイモードでプロジェクターを使う」を参照してください。</p>
スマート再起動	<p>有効を選択すると、プロジェクターをオフしてから 120 秒以内に再起動することができます。120 秒後は、プロジェクターが再度オンになっていない場合は、直接スタンバイモードに入ります。</p> <p> この機能を作動させるには、少し時間がかかります。プロジェクターが 4 分以上オンの状態であるか確認してください。スマート再起動機能を使ってプロジェクターを再開すると、この機能をすぐに実行することが可能です。</p> <p> 有効を選択すると、クイック電源オフ機能が自動的に「有効」に設定できます。</p>
クイック電源オフ	<p>有効を選択すると機能が有効になり、シャットダウン後もプロジェクターは冷却処理に入りません。無効を選択すると機能が無効になり、シャットダウン後も通常の冷却処理に入ります。</p> <p> プロジェクターの電源を切った直後に再起動しようとすると、再起動できずに冷却処理が再度実行されます。</p> <p> 無効を選択すると、スマート再起動機能が自動的にオフになります。</p>

機能	説明
4. 基本メニュー	オーディオ設定 詳細は、32 ページの「サウンドの調整」を参照してください。
	プレゼンテーションタイマー 詳細は、29 ページの「プレゼンテーションタイマーの設定」を参照してください。
	パターン プロジェクターはいくつかのテストパターンを表示できます。これはイメージサイズとフォーカスを調整し、投写画像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。
	画面オフタイマー 詳細は、30 ページの「画像を隠す」を参照してください。
	メッセージ オンを選択すると、プロジェクターが信号を検出したり、検出したりするときに現在の情報がスクリーンに表示されます。
	スプラッシュスクリーン プロジェクター起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。
5. 詳細メニュー	3D 設定 詳細は、31 ページの「接続したデバイスによっては、CEC 機能が作動しない場合があります。」を参照してください。
	HDMI 設定 詳細は、22 ページの「HDMI 入力設定の変更」を参照してください。
	ランプ設定 ランプモード 詳細は、46 ページの「設定ランプモード」を参照してください。 ランプ時間をリセット 新しいランプに交換した後は、ランプタイマーがリセットされます。ランプを交換する場合は、専門のサービス担当者にお問い合わせください。 ランプ時間 ランプの使用時間を計算する方法については、46 ページの「ランプ時間を見る」を参照してください。
	フィルタ設定 詳細は、44 ページの「ダストフィルタの使い方 (別売り)」を参照してください。
DCR  この機能は PC 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。  DCR を有効にすると、頻繁にランプモードを切り替えることでランプの寿命が短くなり、作動中のノイズレベルも変わります。	

機能	説明
5. 詳細メニュー クローズドキャプション	<p>クローズドキャプション有効 選択した入力信号にクローズドキャプションがある場合は、オンを選択すると機能が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャプション：TV 番組や動画のダイアログ、ナレーション、サウンド効果が画面に表示されます（TV 番組表には通常「CC」と表記されます）。 <p> この機能はコンポジットビデオ入力信号が選択され、システムフォーマットが NTSC の場合にしか使用できません。</p> <p>キャプションバージョン キャプションを表示するには、CC1、CC2、CC3、CC4（CC1はキャプションをその地域の第一言語で表示します）を選択します。</p>
設定をリセットする	<p>すべての設定を工場出荷時の値に戻します。</p> <p> 次の設定は現在の設定値のまま維持されます：台形補正、位相、水平サイズ、オーバースキャン、言語、プロジェクトの投写位置、高地対応モード、セキュリティ設定、リモコンコード、3D 同期、フィルタモード、HDMI 設定。</p>
6. システムメニュー 言語	<p>オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。詳細は、19 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。</p>
プロジェクトの投写位置	<p>詳細は、10 ページの「設置場所の選択」を参照してください。</p>
メニュー設定	<p>メニュー表示時間 最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。設定は 5 秒毎に 5 から 30 秒までの範囲で設定できます。</p> <p>メニュー位置 オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの位置を設定します。</p>
高地対応モード	<p>高地で使用する場合の操作モードです。詳細は、31 ページの「高地での操作」を参照してください。</p>
クイック自動検索	<p>詳細は、22 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。</p>
セキュリティ設定	<p>詳細は、20 ページの「パスワード機能を使用する」を参照してください。</p>
パネル キーロック	<p>詳細は、30 ページの「コントロールキーをロックする」を参照してください。</p>
リモコンコード	<p>詳細は、8 ページの「リモコンコード」を参照してください。</p>
Baud Rate (ボーレート)	<p>適切な RS232 ケーブルを使ってプロジェクターをコンピュータに接続し、RS232 コマンドでプロジェクターを操作できるように、ボーレートはコンピュータと同じ値に設定してください。</p>

機能	説明
7. 情報メニュー	<p>ソース 現在の信号ソースを表示します。</p> <p>カラーモード 画像メニューで選択したモードを表示します。</p> <p>解像度 入力信号のネイティブ解像度を表示します。</p> <p>カラー システム 入力システムフォーマットを表示します。</p> <p>ファームウェアバージョン 現在のファームウェアバージョンを表示します</p> <p>3X Fast Input 機能がアクティブかどうかを表示します。</p> <p>S/N このプロジェクターのシリアル番号を表示します。</p>

メンテナンス

プロジェクターのお手入れ

レンズとフィルタ（別売りアクセサリ）は、定期的にお手入れをしてください。

プロジェクターのパーツは絶対に取り外さないでください。プロジェクターのパーツの交換が必要な場合は、販売店にご相談ください。

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。

- ・ 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- ・ 汚れやしみが付いた場合は、レンズクリーニングペーパーまたはレンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。

⚠注意

研磨剤でレンズをこすらないでください。

プロジェクター ケースのお手入れ

ケースのお手入れを行う前に、33 ページの「プロジェクターをシャットダウンする」に記載されている正しい手順でプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- ・ ほこりや汚れを取り除くには、柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- ・ 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

⚠注意

ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合、次の手順に従ってください。

- ・ 保管場所の温度と湿度が、プロジェクターの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、50 ページの「仕様」を参照するか、販売店にお尋ねください。
- ・ 調整脚をおさめます。
- ・ リモコンから電池を取り外します。
- ・ プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまします。

プロジェクターの移動

プロジェクターを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

ダストフィルタの使い方（別売り）

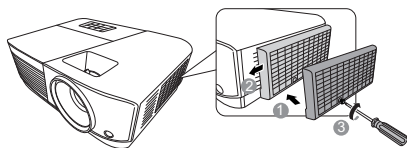
⚠注意

- ・ ダストフィルタを取り付けた後は、100 時間おきにフィルタをお手入れしてください。
- ・ フィルタを取り付けたり、取り外したりする前に、プロジェクターの電源を切って、プラグをコンセントから抜いてください。

- ・ プロジェクターが天井に取り付けられている場合、または簡単に手の届かない場所に取り付けられている場合は、ダストフィルタを交換する際は特に注意してください。

ダストフィルタの取り付け

1. プロジェクターの電源を切って、プラグをコンセントから抜いてください。
2. フィルタをプロジェクターのスロットに挿入して、右側にある矢印の方向にフィルタをぴったりと合わせます。
3. ネジを絞めて、ダストフィルタを固定します。



初回取り付け：

4. OSDメニューを開き、**詳細 > フィルタ設定メニュー**を選択してください。
5. **Enter** を押すと、**フィルタ設定**ページが開きます。
6. **フィルタモード**を選択して **◀/▶** を押し、**オン**を選択します。フィルタタイマーがカウントを開始します。

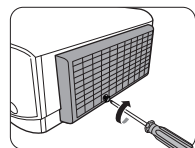
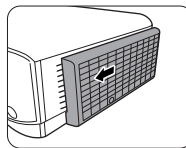
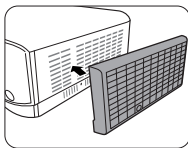
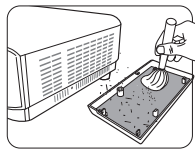
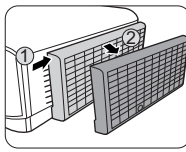
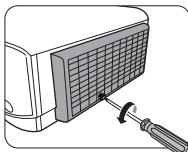
⚠️ダストフィルタ（別売り）を正しく設置した後は、プロジェクターを使用するときに限りフィルタモードをオンに設定してください。そうしなければ、ランプの寿命が短くなります。

フィルター時間の見方

1. OSDメニューを開き、**詳細 > フィルタ設定メニュー**を選択してください。
2. **Enter** を押します。すると**フィルタ設定**ページが表示されます。
3. **フィルタ時間**情報はメニューに表示されます。

ダストフィルタのお手入れ

1. プロジェクターの電源を切って、プラグをコンセントから抜いてください。
2. ネジを緩めて、ダストフィルタを固定します。
3. 小型掃除機か柔らかいブラシでフィルタのホコリを除去します。
4. ダストフィルタを元に戻します。



フィルタタイマーのリセット

5. OSDメニューを開き、**詳細 > フィルタ設定メニュー**を選択してください。
6. **Enter** を押すと、**フィルタ設定**ページが開きます。
7. **フィルタ時間をリセット**を選択し、**Enter** を押します。フィルタタイマーをリセットしても良いかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。

- リセットを選択し、Enter を押します。

⚠注意

ダストフィルタを外した状態でプロジェクターを使用するときには、詳細 > フィルタ設定メニューでフィルタモードをオフに設定してください。フィルタモードをオフに設定してもフィルタタイマーはリセットされません。フィルタを戻し、フィルタモードをオンに設定すると、タイマーはカウントを続行します。

ランプ情報

ランプ時間を見る

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。

ランプ時間を確認する：

- OSD メニューを開き、**詳細 > ランプ設定**メニューを選択してください。
- Enter を押すと、**ランプ設定**ページが開きます。
- ランプ時間**情報はメニューに表示されます。
- メニューを終了するには、Exit を押します。

ランプ寿命を延長する

投写ランプは消費アイテムです。ランプの寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。

設定ランプモード

プロジェクターを Eco/ **ダイナミック** / **スーパーエコ**モードにすると、システムノイズ、電力消費量を低減し、ランプの寿命を延長できます。

ランプモード	説明
ノーマル	ランプを完全に明るくします。
Eco	ランプの電力消費量を 30% 節電し、輝度を下げてランプの寿命を延長し、さらにファンのノイズも低減します。
ダイナミック	コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 70% 節電できます。
スーパーエコ	ランプの電力消費量を 70% 節電し、輝度を下げてランプの寿命を延長し、さらにファンのノイズも低減します。

ランプモードに設定するには、**詳細 > ランプ設定 > ランプモード**メニューで ◀ / ▶ を押します。または、リモコンで **Eco Mode** を押します。

設定自動パワーオフ

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

- OSD メニューを開き、**電源管理 > スマート エネルギー**メニューを選択してください。
- Enter を押すと、**スマート エネルギー**ページが開きます。
- 自動パワーオフ**を選択し、◀ / ▶ を押します。

4. プリセットの時間がこれから行うプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択してください。この場合、一定時間が経過してもプロジェクターは自動的にシャットダウンしません。

設定スリープタイマー

指定した時間を経過したら、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

1. OSDメニューを開き、**電源管理** > **スマート エネルギー**メニューを選択してください。
2. **Enter** を押すと、**スマート エネルギー**ページが開きます。
3. **スリープタイマー**を選択し、**◀/▶** を押します。
4. プリセットの時間がこれから行うプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択してください。この場合、一定時間が経過してもプロジェクターは自動的にシャットダウンしません。

設定省電力

5分後に入力源が検出されない場合は、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電力消費量を低減します。一定時間後にプロジェクターの電源を自動的にオフにすることもできます。

1. OSDメニューを開き、**電源管理** > **スマート エネルギー**メニューを選択してください。
2. **Enter** を押すと、**スマート エネルギー**ページが開きます。
3. **省電力**を選択し、**◀/▶** を押します。
4. **有効**を選択すると、5分間信号が検出されなければプロジェクターのランプはEcoモードに変わります。



20分間信号が検出されなければプロジェクターのランプはスーパーエコモードに変わります。



ランプを交換する時期

ランプインジケータースタートライトが点灯したときには、新しいランプを取り付けるか、販売店にお尋ねください。古いランプを使用すると、プロジェクターの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

⚠ 注意

ランプが過熱すると、ランプインジケータースタートライトと電源インジケータースタートライトが点灯します。この場合は、電源をオフにして45分間ほど放置し、プロジェクターを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときにランプインジケータースタートライトまたは電源インジケータースタートライトが点灯する場合は、販売店にご相談ください。詳細は、48ページの「インジケータースタート」を参照してください。

ランプの交換

- ⚠ 電源を切り、プロジェクターをコンセントから抜いてください。ランプの交換については、専門のサービス担当者にお問い合わせください。

インジケータ

ライト			状態と説明
			
電源の状況			
青点滅	オフ	オフ	スタンバイモード
青	オフ	オフ	電源を入れています。
青	オフ	オフ	通常動作状態です。
青点滅	オフ	オフ	通常の電源オフ冷却プロセスです (3秒)
赤	オフ	オフ	ダウンロード中
青	青	青	書き込みオフ
ランプの状況			
青点滅	オフ	赤	最初のランプ点灯エラー冷却です (60秒)
オフ	オフ	赤	通常動作時にランプエラー発生 (30秒)
青	オフ	赤	CW スタート失敗 (30秒)
温度の状況			
オフ	赤	オフ	ファン1エラー (実際のファン速度が適正速度よりも±25%オーバー)
オフ	赤	赤	ファン2エラー (実際のファン速度が適正速度よりも±25%オーバー)
オフ	赤	青	ファン3エラー (実際のファン速度が適正速度よりも±25%オーバー)
オフ	赤	紫	ファン4エラー (実際のファン速度が適正速度よりも±25%オーバー)
赤	赤	赤	熱センサー1開エラー (リモートダイオードが開回路状態です)
赤	赤	青	熱センサー2開エラー (リモートダイオードが開回路状態です)
青	赤	赤	熱センサー1ショートエラー (リモートダイオードがショートしています。)
オフ	赤	青	熱センサー2ショートエラー (リモートダイオードがショートしています。)
紫	赤	赤	温度1エラー (上限温度オーバー)
紫	赤	青	温度2エラー (上限温度オーバー)
オフ	青	赤	ファンIC #1 I2C 接続エラー

トラブルシューティング

② プロジェクターの電源がオンにならない。

原因	対応
電源コードから電源が来ていません。	電源コードが、プロジェクターの AC 入力と、コンセントに、正しく差し込まれていることを確認してください。また、コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認してください。
冷却プロセスの間にプロジェクターの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。

③ 画像が映らない。

原因	対応
ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
プロジェクターが正しく入力信号デバイスに接続されていません。	接続を確認します。
入力信号が正しく選択されていません。	プロジェクターまたはリモコンの Source キーで正しい入力信号を選択します。

④ イメージがぼやける。

原因	対応
投写レンズの焦点が合っていません。	フォーカシングで焦点を合わせてください。
プロジェクターとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクターの高さを調整します。

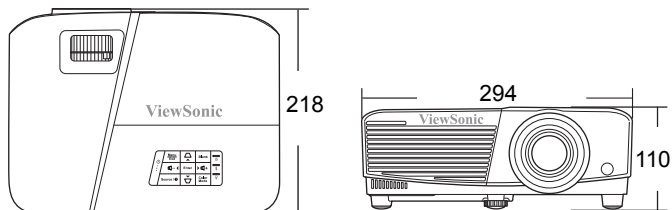
⑤ リモコンが機能しない。

原因	対応
電池が切れています。	電池を新しい電池に交換します。
リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
プロジェクターからの距離が遠すぎます。	プロジェクターから 8 メートル (26 フィート) 以内の場所に立ちます。
プロジェクターのリモコンコードとリモコンのリモコンコードが一致しません。	リモコンコードを調整してください。

仕様

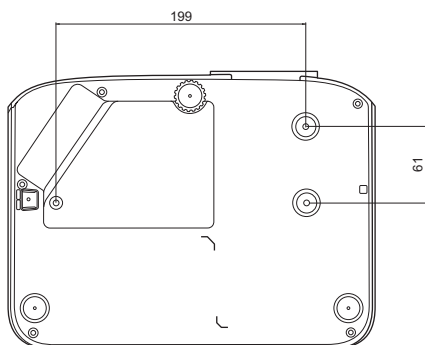
外形寸法

294 mm (W) x 110 mm (H) x 218 mm (D) (凸部を含まず)



単位 : mm

天井取り付け



◎ 天井取り付けネジ :
M4 x 8 (最長 = 8 mm)

単位 : mm

IR 制御表

キー	フォーマット	Byte1	Byte2	Byte3	Byte4
PgDn	NEC	X3	F4	05	FA
PgUp	NEC	X3	F4	06	F9
Blank	NEC	X3	F4	07	F8
Auto sync	NEC	X3	F4	08	F7
上	NEC	X3	F4	0B	F4
下	NEC	X3	F4	0C	F3
左	NEC	X3	F4	0E	F1
右	NEC	X3	F4	0F	F0
Color Mode	NEC	X3	F4	10	EF
Enter	NEC	X3	F4	15	EA
Exit	NEC	X3	F4	28	D7
D. ECO (Eco mode)	NEC	X3	F4	2B	D4
Menu	NEC	X3	F4	30	CF
Source	NEC	X3	F4	40	BF
Pattern	NEC	X3	F4	55	AA
HDMI	NEC	X3	F4	58	A7
音量を上げる	NEC	X3	F4	82	7D
音量を下げる	NEC	X3	F4	83	7C
VGA1	NEC	X3	F4	41	be
電源オン	NEC	X3	F4	4F	A0
電源オフ	NEC	X3	F4	4E	A1
情報	NEC	X3	F4	97	68
Zoom +	NEC	X3	F4	67	98
Zoom -	NEC	X3	F4	68	97
VIDEO	NEC	X3	F4	9F	60
MUTE	NEC	X3	F4	14	EB
ASPECT	NEC	83	F4	13	EC
FREEZE	NEC	X3	F4	03	FC

アドレスコード

コード 1	83F4
コード 2	93F4
コード 3	A3F4
コード 4	B3F4
コード 5	C3F4
コード 6	D3F4
コード 7	E3F4
コード 8	F3F4

RS232 コマンド表

< 両端のピン割り当て >

ピン	説明	ピン	説明
1	NC	2	RX
3	TX	4	NC
5	GND	6	NC
7	RTSZ	8	CTSZ
9	NC		



< インターフェイス >

RS-232 プロトコル	
ボーレート	115200 bps (デフォルト)
データ長	8 ビット
パリティ チェック	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

<RS232 コマンド表 >

機能	状態	操作	コマンド
電源	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x00 0x00 0x5D
		オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x01 0x00 0x5E
	読み取り	電源状態 (オン/オフ)	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x00 0x5E
全設定をリセット		実行	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x02 0x00 0x5F
色設定をリセット		実行	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x2A 0x00 0x87
起動画面	書き込み	起動画面ブランク	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0A 0x00 0x67
		起動画面青	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0A 0x01 0x68
		起動画面ViewSonic	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0A 0x02 0x69
		起動画面なし	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0A 0x04 0x6B
	読み取り	起動画面の状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x0A 0x68
自動パワーオフ	書き込み	自動パワーオフ: オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0B 0x00 0x68
		自動パワーオフ: オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0B 0x01 0x69
	読み取り	自動パワーオフ状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x0B 0x69
高地対応モード	書き込み	高地対応モードオフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0C 0x00 0x69
		高地対応モードオン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0C 0x01 0x6A
	読み取り	高地対応モードの状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x0C 0x6A
ランプモード	書き込み	標準	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x00 0x6D
		Eco	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x01 0x6E
		ダイナミック	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x02 0x6F
		スーパーエコ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x03 0x70
	読み取り	ランプモードの状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x10 0x6E

メッセージ	書き込み	メッセージ： オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x27 0x00 0x84
		メッセージ： オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x27 0x01 0x85
	読み取り	メッセージの 状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x27 0x85
プロジェクトの 配置	書き込み	前面投写	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x00 0x5E
		リア投写	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x01 0x5F
		天井リア投写	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x02 0x60
		天井前面投射	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x03 0x61
	読み取り	プロジェクト 位置の 状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x00 0x5F
3D 同期	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x00 0x7E
		自動	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x01 0x7F
		F. シーケン シャル	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x02 0x80
		フレームパッ キング	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x03 0x81
		上 - 下	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x04 0x82
		横に並べる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x05 0x83
	読み取り	3D 同期の状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x20 0x7F
3D 逆同期	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x21 0x00 0x7F
		オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x21 0x01 0x80
	読み取り	3D 逆同期の 状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x21 0x80
コントラスト	書き込み	コントラスト を下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x02 0x00 0x60
		コントラスト を上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x02 0x01 0x61
	読み取り	コントラスト 比	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x02 0x61
輝度	書き込み	輝度を下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x03 0x00 0x61
		輝度を上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x03 0x01 0x62
	読み取り	輝度	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x03 0x62

縦横比	書き込み	縦横比自動	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x00 0x62
		縦横比 4:3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x02 0x64
		縦横比 16:9	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x03 0x65
		縦横比 16:10	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x04 0x66
		縦横比：アナ モルフィック	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x05 0x67
		縦横比 2.35:1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x07 0x69
	縦横比：パノ ラマ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x08 0x6A	
読み取り	縦横比	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x04 0x63	
自動調整	実行		0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x05 0x00 0x63
水平位置	書き込み	水平位置を右 ヘシフト	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x06 0x01 0x65
		水平位置を左 ヘシフト	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x06 0x00 0x64
	読み取り	水平位置	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x06 0x65
垂直位置	書き込み	垂直位置を上 ヘシフト	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x07 0x00 0x65
		垂直位置を下 ヘシフト	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x07 0x01 0x66
	読み取り	垂直位置読み 取り	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x07 0x66
色温度	書き込み	色温度（暖色）	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x08 0x00 0x66
		色温度（標準）	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x08 0x01 0x67
		色温度（寒色）	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x08 0x03 0x69
	読み取り	色温度の状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x08 0x67
空白	書き込み	空白オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x09 0x01 0x68
		空白オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x09 0x00 0x67
	読み取り	空白の状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x09 0x68
垂直歪み 補正	書き込み	下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0A 0x00 0x68
		上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0A 0x01 0x69
	読み取り	台形補正の 状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x0A 0x69

カラーモード	書き込み	輝度	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x00 0x69
		ムービー	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x01 0x6A
		画像	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x13 0x7C
		標準	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x04 0x6D
		プレゼンテーション	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x14 0x7D
	読み取り	プリセットモードの状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x0B 0x6A
原色	書き込み	原色 R	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x00 0x6E
		原色 G	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x01 0x6F
		原色 B	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x02 0x70
		原色 C	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x03 0x71
		原色 M	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x04 0x72
		原色 Y	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x05 0x73
読み取り	原色の状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x10 0x6F	
色相	書き込み	色相を下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x11 0x00 0x6F
		色相を上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x11 0x01 0x70
	読み取り	色相	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x11 0x70
彩度	書き込み	彩度を下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x12 0x00 0x70
		彩度を上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x12 0x01 0x71
	読み取り	彩度	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x12 0x71
ゲイン	書き込み	ゲインを上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x13 0x00 0x71
		ゲインを下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x13 0x01 0x72
	読み取り	ゲイン	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x13 0x72
フリーズ	書き込み	フリーズ オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x00 0x01 0x60
		フリーズ オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x00 0x00 0x5F
	読み取り	フリーズの状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x13 0x00 0x60

ソース入力	書き込み	入力源 VGA	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x00 0x60
		入力源 VGA2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x08 0x68
		入力源 HDMI	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x03 0x63
		入力源コンポジット	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x05 0x65
	読み取り	ソース	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x13 0x01 0x61
クイック自動検索	書き込み	クイック自動検索オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x02 0x01 0x62
		クイック自動検索オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x02 0x00 0x61
	読み取り	クイック自動検索の状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x13 0x02 0x62
ミュート	書き込み	ミュート オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x00 0x01 0x61
		ミュート オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x00 0x00 0x60
	読み取り	ミュートの状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x14 0x00 0x61
音量	書き込み	音量を上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x01 0x00 0x61
		音量を下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x02 0x00 0x62
	読み取り	音量	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x14 0x03 0x64

言語	書き込み	ENGLISH	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x00 0x61
		FRANÇAIS	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x01 0x62
		DEUTSCH	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x02 0x63
		ITALIANO	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x03 0x64
		ESPAÑOL	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x04 0x65
		РУССКИЙ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x05 0x66
		繁體中文	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x06 0x67
		简体中文	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x07 0x68
		日本語	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x08 0x69
		한국어	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x09 0x6A
		Svenska	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0a 0x6B
		Nederlands	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0b 0x6C
		Türkçe	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0c 0x6D
		Čeština	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0d 0x6E
		Português	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0e 0x6F
		தமிழ்	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0f 0x70
		Polski	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x10 0x71
		Suomi	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x11 0x72
		العربية	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x12 0x73
	Indonesian	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x13 0x74	
हिन्दी	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x14 0x75		
Tiếng Việt	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x15 0x76		
	読み取り	言語	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x15 0x00 0x62
ランプ時間	書き込み	ランプ使用時間をリセット	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x01 0x00 0x62
	読み取り	ランプ使用時間	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x15 0x01 0x63

HDMI フォーマット	書き込み	RGB	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x28 0x00 0x85
		YUV	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x28 0x01 0x86
		自動	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x28 0x02 0x87
	読み取り	HDMI フォーマットの状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x28 0x86
HDMI 範囲	書き込み	エンハンス 済み	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x29 0x00 0x86
		標準	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x29 0x01 0x87
		自動	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x29 0x02 0x88
	読み取り	HDMI 範囲の 状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x29 0x87
CEC	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x2B 0x00 0x88
		オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x2B 0x01 0x89
	読み取り	CEC の状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x2B 0x89
エラーの 状態	読み取り	読み取りエ ラーの状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x0C 0x0D 0x66
Brilliant Color	書き込み	Brilliant Color 0	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x00 0x6D
		Brilliant Color 1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x01 0x6E
		Brilliant Color 2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x02 0x6F
		Brilliant Color 3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x03 0x70
		Brilliant Color 4	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x04 0x71
		Brilliant Color 5	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x05 0x72
		Brilliant Color 6	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x06 0x73
		Brilliant Color 7	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x07 0x74
		Brilliant Color 8	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x08 0x75
		Brilliant Color 9	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x09 0x76
	Brilliant Color 10	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x0A 0x77	
読み取り	Brilliant Color の状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x0F 0x6E	


リモコン コード	書き 込み	コード 1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x00 0xA0
		コード 2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x01 0xA1
		コード 3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x02 0xA2
		コード 4	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x03 0xA3
		コード 5	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x04 0xA4
		コード 6	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x05 0xA5
		コード 7	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x06 0xA6
		コード 8	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x07 0xA7
	読み 取り	リモコンコードの状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x0C 0x048 0xA1
スクリーン の色	書き 込み	スクリーンの色オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x32 0x00 0x8F
		ブラックボード	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x32 0x01 0x90
		グリーンボード	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x32 0x02 0x91
		ホワイトボード	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x32 0x03 0x92
	読み 取り	スクリーンの色の状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x32 0x90
オーバース キャン	書き 込み	オーバースキャンオフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x00 0x90
		オーバースキャン 1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x01 0x91
		オーバースキャン 2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x02 0x92
		オーバースキャン 3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x03 0x93
		オーバースキャン 4	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x04 0x94
		オーバースキャン 5	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x05 0x95
	読み 取り	オーバースキャンの状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x33 0x91

リモート キー	書き 込み	メニュー	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0F 0x61
		終了	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x13 0x65
		上	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0B 0x5D
		下	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0C 0x5E
		左	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0D 0x5F
		右	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0E 0x60
		ソース	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x04 0x56
		確定	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x15 0x67
		自動	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x08 0x5A

タイミングチャート

アナログ RGB			
信号	解像度 (ドット)	縦横比	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	60/72/75/85
SVGA	800 x 600	4:3	60/72/75/85
XGA	1024 x 768	4:3	60/70/75/85
	1152 x 864	4:3	75
WXGA	1280 x 768	15:9	60
	1280 x 800	16:10	60/75/85
	1360 x 768	16:9	60
Quad-VGA	1280 x 960	4:3	60/85
SXGA	1280 x 1024	5:4	60
WXGA	1366 x 768	16:9	59.7
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
UXGA	1600 x 1200	4:3	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
HD	1280 x 720	16:9	60
MAC 13"	640 x 480	4:3	67
MAC 16"	832 x 624	4:3	75
MAC 19"	1024 x 768	4:3	75
MAC 21"	1152 x 870	4:3	75
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	60

HDMI			
信号	解像度 (ドット)	縦横比	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	60
SVGA	800 x 600	4:3	60
XGA	1024 x 768	4:3	60
WXGA	1280 x 768	15:9	60
	1280 x 800	16:10	60
	1360 x 768	16:9	60
Quad-VGA	1280 x 960	4:3	60
SXGA	1280 x 1024	5:4	60
WXGA	1366 x 768	16:9	59.7
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	50/60
HDTV (1080i)	1920 x 1080	16:9	50/60
HDTV (720p)	1280 x 720	16:9	50/60
SDTV (480p)	720 x 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 x 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 x 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 x 576	4:3 / 16:9	50

3D (HDMI 信号を含む)			
信号	解像度 (ドット)	縦横比	リフレッシュレート (Hz)
SVGA	800 x 600	4:3	60* / 120**
XGA	1024 x 768	4:3	60* / 120**
HD	1280 x 720	16:9	50* / 60* / 120**
WXGA	1280 x 800	16:9	60* / 120**
ビデオ信号用			
信号	解像度 (ドット)	縦横比	リフレッシュレート (Hz)
SDTV (480i)***	720 x 480	4:3 / 16:9	60
 <p>* 50 Hz 信号と 60 Hz 信号は、横に並べる、上?下、F. シーケンシャルに対応しています。</p> <p>** 120 Hz 信号は、F. シーケンシャル フォーマットでのみサポートされています。</p> <p>*** ビデオ信号 (SDTV 480i) は、F. シーケンシャル フォーマットでのみサポートされていません。</p>			

HDMI 3D			
フレームパッキング方式			
信号	解像度 (ドット)	縦横比	リフレッシュレート (Hz)
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60
横に並べる フォーマット			
信号	解像度 (ドット)	縦横比	リフレッシュレート (Hz)
1080i	1920 x 1080	16:9	50/59.94/60
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60
上 - 下 フォーマット			
信号	解像度 (ドット)	縦横比	リフレッシュレート (Hz)
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60

コンポーネントビデオ

信号	解像度 (ドット)	縦横比	リフレッシュレート (Hz)
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	50/60
HDTV (1080i)	1920 x 1080	16:9	50/60
HDTV (720p)	1280 x 720	16:9	50/60
SDTV (480p)	720 x 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 x 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 x 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 x 576	4:3 / 16:9	50

コンポジットビデオ

信号	縦横比	リフレッシュレート (Hz)
NTSC	4:3	60
PAL	4:3	50
PAL60	4:3	60
SECAM	4:3	50

プロジェクターの仕様

☞ 仕様はすべて予告なく変更されることがあります。

☞ お住まい地域によっては、販売されていないモデルもあります。

型番	PA500S	PA503S	PA500X	PA503X	PA503W
仕様					
解像度	0.55" SVGA (800 x 600)		0.55" XGA (1024 x 768)		0.65" WXGA (1280 x 800)
投写率	1.96~2.15				1.55~1.7
ディスプレイ システム	1-CHIP DMD				
ランプのタイプ	190 W (RCL-108)				190 W (RCL-109)
入力コネクタ					
RGB 入力	2				
コンポーネント入力	RGB 入力と共有				
S ビデオ	-				
コンポジット入力	-	1	-	1	
オーディオ入力	1				
RCA R&L	-				
Mini USB	1 (ファームウェア アップグレード)				
HDMI (1.4a)	-	1	-	1	
HDMI/MHL	-				
出力コネクタ					
RGB 出力	1				
USB-A	-				
Mini USB (5V/1.5A)	-				
オーディオ出力	1				
スピーカー	2 W				
制御端末					
RS-232 シリアル コント ロール	9 ピン x 1				
LAN	-				
IR 受信機	1 (正面)				
機械的仕様					
純量	2.3 Kg (5.1 lbs)				
電気					
電源	AC 100-240 V、50-60 Hz				
消費電力	標準 : 280 W (最大)、<0.5 W (スタンバイ)				

環境要件

動作温度範囲

0°C – 40°C (海拔)

操作高度

0 – 1499 m (0°C – 35°C)

0°C – 30°C で 1500 – 3000 m
(高地対応モードオン)

動作相対湿度

10% – 90% (結露なきこと)

著作権情報

著作権

Copyright © 2017. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、ViewSonic Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

おことわり

ViewSonic コーポレーションは、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、ViewSonic コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

*DLP、Digital Micromirror Device (DMD) は、Texas Instruments の商標です。その他の著作権は各社または各組織に帰属します。

カスタマサポート

技術サポート、製品サービスおよび保証範囲については、
下記ウェブサイトをご覧ください。

[ViewSonic International ヘルプページ](#)

製品サポート、修理、その他お問い合わせについては、
カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

電話番号： 050-5810-1535、平日：9 時 ~ 18 時

注意事項：製品のシリアル番号が必要です。

限定保証

ViewSonic® プロジェクター

保証の範囲：

ViewSonic は、保証期間内において、当社製品がその正常な使用下で材質及び製造に欠陥がないことを保証します。保障期間内に製品の材質または製造に欠陥が認められた場合、ViewSonic は当社単独の選択で当該製品の修理または同等製品との交換を行います。代替製品または部品は、再生または修復された部品または部材を含んでいることがあります。

限定 3 年間一般保証：

以下に定めるより限定された 1 年間保証に従属します、北米および南米: ランプを除くすべての部品に対する 3 年間保証、3 年間の動作保証、および、元のランプに対する最初の消費者の購入日から 5 0 0 時間又は六ヶ月間の保証。
その他の地域または国: 保証情報については、お近くの販売店または現地の ViewSonic 事務所に確認してください。

限定 1 年間高頻度使用保証：

一日平均使用時間が 14 時間を超える高使用頻度設定下、北米および南米: ランプを除くすべての部品に対する 1 年間保証、1 年間の動作保証、および、元のランプに対する最初の消費者の購入日から 90 日間の保証。
欧州: ランプを除くすべての部品に対する 1 年間保証、1 年間の動作保証、および、元のランプに対する最初の消費者の購入日から 90 日間の保証。
その他の地域または国: 保証情報については、お近くの販売店または現地の ViewSonic 事務所に確認してください。
ランプの保証は、利用条件、検証および承認に従属します。製造者の設置したランプにのみ適用されます。別途購入したすべての付属品ランプは、90 日間保証されます。

保証の対象者：

この保証は最初に製品をお買い上げになった消費者の方のみを対象にしています。

次の場合、この保証の対象外となります：

- シリアル番号が損傷、修正または取り除かれた製品。
- 次を原因とする損傷、破損または故障：
 - 事故、誤用、不適切な取り扱い、火災、水害、落雷、その他天災地変、許可のない製品の改造、または製品の取扱説明書を逸脱して使用した場合。
 - 製品の仕様外の操作。
 - 通常の意図された使用、または、通常の条件下ではない製品の操作。
 - ViewSonic から権限を付与されていない人物による修理または修理の試み。
 - 輸送による製品の損害。
 - 製品の取り外しまたは設置。
 - 異常電圧や停電など、製品外部の原因。
 - ViewSonic の仕様に合わない消耗品や部品の使用。
 - 正常損耗。
 - 製品の欠陥に無関係のその他原因。
- 取り外し、取り付け、一方向の輸送、保険およびサービス料のセットアップ。

サービスを受けるには：

1. 保証に基づきサービスを受けるには、ViewSonic カスタマーサポートにお問い合わせください（カスタマーサポートページを参照）。その際製品のシリアル番号を示す必要があります。
2. 保証サービスを受けるには、(a) 日付入りの保証書原本、(b) お名前、(c) ご住所、(d) 問題の詳細、(e) 製品のシリアル番号の提示が求められます。
3. 製品を元の箱に梱包し、ViewSonic の認定サービスセンターまたは ViewSonic に持ち込みまたはご送付ください。
4. より詳しい説明は ViewSonic カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

黙示保証の制限：

特定目的に対する適合性の黙示保証を含め、明示的または黙示的を問わず、ここで説明される内容を超えないかなる保証もありません。

損害の除外：

ViewSonic の賠償責任は製品の修理または代替の費用に限定されます。ViewSonic は次に対し賠償の責を負いません：

1. 当社がそのような損失の可能性について報告を受けていたとしても、本製品の欠陥により発生した他の財産に対する損害、不便さ、本製品の使用不能、時間的損失、利益の損失、商業的機会の損失、商業的信用の損失、取引関係への干渉、またはその他商業的損失に基づく損害。
2. 二次的、間接的またはその他を問わず、その他あらゆる損害。
3. 第三者によるお客様に対するあらゆる要求。
4. ViewSonic から権限を付与されていない人物による修理または修理の試み。

州法の発効：

本保証はお客様に特定の法律上の権利を付与します。お客様はまた州によって異なるその他権利を有します。州によっては、黙示的保証の制限及び/または二次的或いは間接的損害の除外を認めない場合があります。このため、上記の制限及び除外がお客様に適用されない場合があります。

米国及びカナダ以外での販売：

米国及びカナダ以外で販売された ViewSonic 製品に対する保証情報とサービスについては、ViewSonic またはお住まいの地域の ViewSonic 販売店にお問い合わせください。

中国（香港、マカオ、台湾を除く）における本製品に対する保証期間は、メンテナンス保証書に記載の条件の対象となります。

ヨーロッパとロシアのユーザーの場合、提供される保証の完全な詳細は www.viewsoniceurope.com で Support/Warranty Information (サポート/保証情報) を参照してください。

